

2019(令和元)年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2019

Akita Museum of Modern Art



秋田県立近代美術館 外観

目次

沿革	2
美術館の事業紹介	3
2019(令和元)年度事業一覧	5
展示事業	
i 特別展 写真展 岩合光昭の 世界ネコ歩き 2	7
ii 特別展 ビッグコミック50周年展	13
iii 特別展 若冲と京の美術	17
iv 特別展 没後130年 平福穂庵展	21
v 企画展 山岳の美・水辺の美	25
i コレクション展 第I期 眼と手	28
ii コレクション展 第II期 キャラクターズ the Characters	29
iii コレクション展 第III期 能代・山本の画家たち	30
iv コレクション展 第IV期 寺崎廣業展	31
コレクション展 展示風景(画像)	32
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	33
ミュージアムコンサート	36
美術館講座・美術講演	37
出前美術館・出前美術展	38
ネットワーク推進事業	41
ふれんどリーギャラリー	42
美術館のセカンドスクールの利用	45
博物館実習	46
美術館ボランティアAMC(アムック)	47
収集事業	
美術品収集	48
図書資料	49
美術品保存	
美術品保存・修復	49
重要文化財等指定	49
燻蒸	50
美術品の貸し出し	50
調査・研究業績	51
刊行物	52
入館状況	53
組織	54
建築・設備概要	55
関係法規	56
館内図	58
利用・交通案内	60

沿革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元)年	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成6)年	4月20日	開館
1997(平成9)年	10月2日	天皇・皇后両陛下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月	特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成
2018(平成30)年	2月～3月	休館し、館内改修工事を実施
2018(平成30)年	4月	リニューアルオープン
	8月	入館者数2,500,000人を達成

美術館の事業紹介

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ① 収蔵品に関する調査研究
- ② 秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③ 保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④ その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researches

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰もが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC（アムック）との連携によって、さらに積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.



秋田県立近代美術館 地下1階エントランスホール

2019(令和元)年度事業一覧

月／	企画展	コレクション展	△移動展等	◆企画展関連イベント等
2019				
4		4月10日(水)～7月7日(日) 2019コレクション展 第1期 眼と手		
5	4月27日(土)～6月30日(日) 特別展 写真展 岩合光昭の世界ネコ歩き 2			◇ 5月3日(金・祝) 岩合光昭氏アーティストトーク&サイン会 ①回目午前11時～ ②回目午後2時～ ◇ 5月19日(日) ABSアナウンサーと担当学芸員のギャラリートーク ①回目午前11時～ ②回目午後2時～
6				◇ 6月8日(土) スペシャルギャラリートーク ①回目午前11時～ ②回目午後2時～ 講師：藤田秀文氏 (ペットショップ金鳥園社長)
7	7月6日(土)～9月8日(日) 特別展 ビッグコミック50周年展	7月10日(水)～10月6日(日) 2019コレクション展 第2期 キャラクターズ		◇ 7月6日(土) 高橋のぼる×ビッグコミック スペシャルトークショー 漫画家・高橋のぼる氏、ビッグコミック編集長・由田和人氏 ▲ 7月10日(水)～7月25日(木) 出前美術展「世界一の珊瑚礁」 Lady Elliot Island, Australia 会場：能代エナジウムパーク
8				◇ 7月14日(日) なまずくと記念撮影をしよう！ ◇ 7月20日(土) ギャラリートーク 横手市まんが美術館×近代美術館 午後2時～ ◇ 8月10日(土) ギャラリートーク ABSアナウンサー×近代美術館学芸員 午後2時～
9	9月14日(土)～11月10日(日) 特別展 若冲と京の美術 —京都 細見コレクションの精華—			◇ 9月14日(土) 講演会「細見コレクションと若冲」 講師：細見良行氏 (細見美術館長) 午後1時半～ ◇ 9月22日(日) ABSアナウンサーと担当学芸員のギャラリートーク ①回目午前11時～ ②回目午後2時～ ◇ 10月27日(日) ワークショップ「墨で描こう、若冲到挑戦！」 講師：当館学芸員 午前10時～午後3時
10		10月9日(水)～1月13日(月・祝) 2019コレクション展 第3期 能代・山本の画家たち		▲ 10月10日(木)～10月14日(月・祝) 出前美術館 Artが北秋田市にやってきた 会場：北秋田市文化会館
11	11月16日(土) ～2月2日(日) 特別展 没後130年 平福穂庵展			◇ 11月30日(土) 平福穂庵展 担当学芸員によるギャラリートーク ②回目 1月5日(日) 各日午後2時～
12				▲ 12月14日(土)～1月28日(火) ネットワーク事業「美術館の眼Ⅶ」 会場：秋田県立図書館特別展示室
2019	12/29(日)～31(火) 年末休館			
1	没後130年 平福穂庵展	能代・山本の画家たち		
	1/14(火)～23(木) メンテナンス休館			
2	没後130年 平福穂庵展	1月24日(金)～4月8日(水) 2019コレクション展 第4期 寺崎廣業展		◇ 2月16日(日) 午後2時～ 山岳の美・水辺の美 担当学芸員によるギャラリートーク
3	2月6日(木)～4月13日(月) 企画展 山岳の美・水辺の美			
				

◆2019年度 秋田県立近代美術館 美術館講座
館長講座《「実」を求めて―鎌倉時代の美術と文化―》

5月11日(土) 王朝美術の残影
6月22日(土) 玉眼の御仏
7月20日(土) 神々の美術
8月 3日(土) 描かれた武士
9月21日(土) 仏教の新展開と美術
10月19日(土) 明恵上人が愛でた美術
11月 2日(土) 絵巻物の黄金時代
12月 7日(土) 宗元画の請来

講師：仲町啓子

(秋田県立近代美術館長・実践女子大学文学部教授)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室



☆ 4月13日(土)～5月12日(日)ふれんどリーギャラリー
野崎文隆 氏「スーパーリアリズムの世界2」展

□ 4月14日(日)コレクション展 第1期「眼と手」ギャラリートーク①
②回目 5月26日(土) 各日午後2時～

● 5月11日(土)・12日(日)美術館教室「スーパーリアリズムに挑戦2」
講師：野崎文隆 氏(ブランディングディレクター)

☆ 5月18日(土)～6月 9日(日)ふれんどリーギャラリー
大谷有花 氏「大谷有花～はなすがた～」展

● 6月 1日(土)・2日(日)美術館教室「スモールピースを作ろう」
講師：大谷有花 氏(秋田公立美術大学准教授)

□ 7月21日(日)コレクション展 第2期「キャラクターズ」ギャラリートーク①
②回目 9月 8日(日) 各日午後2時～

● 7月28日(日)みんなの教室「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマⅢ」

● 8月 4日(日)きつずあーと「びじゅつかんでローラー遊び」

● 9月 1日(日)きつずあーと「つねねんどでドロンコアート」

☆ 10月19日(土)～11月17日(日)ふれんどリーギャラリー
山田美知男 氏「山田美知男作品展」

□ 10月27日(日)コレクション展 第3期「能代・山本の画家たち」ギャラリートーク①
②回目 12月 8日(日) 各日午後2時～

● 11月 9日(土)・10日(日)美術館教室 日本画教室「植物を描く2」
講師：山田美知男 氏(画家・日本美術院院友)

● 12月 1日(日)みんなの教室「楽しいな! 版画でカレンダー」
◎ 12月 8日(日)ミュージアムコンサート「トレ コン アモーレ」

☆ 12月15日(日)ネットワーク事業「美術館の眼Ⅷ」ギャラリートーク
①回目午前11時～ ②回目午後2時～

□ 1月26日(日)コレクション展 第4期「寺崎廣業展」ギャラリートーク①
②回目 2月23日(日) 各日午後2時～

2019

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2019

1

2

3

i. 特別展 秋田県立近代美術館開館25周年特別展

写真展 岩合光昭の 世界ネコ歩き2

会 期 2019(令和元)年4月27日(土)～6月30日(日)【65日間】
主 催 写真展「岩合光昭の世界ネコ歩き2」実行委員会
(ABS秋田放送、秋田県立近代美術館)
協 賛 オリンパス株式会社
企画協力 株式会社NHKエンタープライズ
後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび
企画制作 株式会社クレヴィス
担 当 高橋輝樹、菅原真紀子

NHK BSプレミアムの人気番組「岩合光昭の世界ネコ歩き2」の写真展を開催した。世界60カ所以上の撮影地から厳選された16地域の個性溢れるネコたちの写真に、来場者の笑顔は終始途絶えることがなかった。5/3に開催した岩合光昭氏によるアーティストトークには1,000人を越えるお客様が来場し、会場となった5階展示室内は歩く隙間もないほどの盛況ぶりであった。会期中の来場者は18,193名となり、ネコが大好きな方々をはじめ、県内外の多くの皆様に世界各地で撮影された「岩合ネコ写真」を存分に楽しんでいただくことができた。



ニューヨーク New York

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
1	ニューヨーク 1 ブルックリンのピザ屋の立看板に、自由ネコ、ホワイトスライズが乗っています。	112.5×150.0	ブルックリン
2	ニューヨーク 2 ホワイトスライズが、いつどこからやってくるのか誰も知りません。	60.0 × 80.0	ブルックリン
3	ニューヨーク 3 ホワイトスライズ	80.0 × 60.0	ブルックリン
4	ニューヨーク 4 店の奥で自転車屋を営むカフェの看板ネコ、ランドシャーク。	60.0 × 80.0	ブルックリン
5	ニューヨーク 5 自転車屋を手伝いにきたランドシャークです。	60.0 × 80.0	ブルックリン
6	ニューヨーク 6 カフェの入口でお客様を見上げるランドシャーク。皆に愛されています。	60.0 × 80.0	ブルックリン
7	ニューヨーク 7 花屋のヘイゼルはカウンターでお客様の顔を確かめます。	60.0 × 80.0	ブルックリン
8	ニューヨーク 8 開店したばかりの花屋さん、ヘイゼルがお客様を待っています。	60.0 × 80.0	ブルックリン
9	ニューヨーク 9 マンハッタンのペントハウスで、テレビプロデューサーと暮らすマックスです。	60.0 × 80.0	マンハッタン
10	ニューヨーク10 セントラルパークの朝、散歩するスナップです。この直後、アライグマと遭遇します。	60.0 × 80.0	マンハッタン

プリンスエドワード島 Prince Edward

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
11	プリンスエドワード島 1 灯台もホームーのパトロールコースです。	160.0×240.0	プリンスエドワード島
12	プリンスエドワード島 2 木漏れ日と黄色い花に抱 (いだか) れて、パトロールに励むホームーです。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島
13	プリンスエドワード島 3 大きな体のホームー、村では皆に知られた存在です。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島
14	プリンスエドワード島 4 ホームー	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島
15	プリンスエドワード島 5 仲良しのおみやげ屋さんの裏口で、ミルクが欲しいと催促します。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島
16	プリンスエドワード島 6 シーシーは10才のメス。赤毛のアンの作者モンゴメリーのいとこの家で暮らしています。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島
17	プリンスエドワード島 7 なぜかネコは外、イヌは内にいます。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島

18	プリンスエドワード島 8	クロネコのボーイは10才のオス。朝のお出かけはこのドアから。	80.0 × 60.0	プリンスエドワード島
19	プリンスエドワード島 9	ミスターボタンズ、体型はとにかく身軽です。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島
20	プリンスエドワード島10	球のような体ですが転がらず、棧橋に向かいます。	60.0 × 80.0	プリンスエドワード島

ペルー Peru

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
21	ペルー 1 マリアノは水面を飛ぶトリたちを見ている。	112.5×150.0	ティティカカ湖
22	ペルー 2 ティティカカ湖のトトラ(葦の葉)で作られた浮島で暮らすマリアノは1才半のオス。	60.0 × 80.0	ティティカカ湖
23	ペルー 3 昼食の時間になるとマリアノが現れます。	60.0 × 80.0	ティティカカ湖
24	ペルー 4 谷あいの村に暮らす78才のおばあちゃん。	60.0 × 80.0	ヤナワラ村
25	ペルー 5 ケチュアの娘さんと子ネコたちは姉妹のようです。	60.0 × 80.0	クスコ
26	ペルー 6 ドロテアは1才半のメス。雨が上がり、夕陽が射します。	112.5×150.0	サクサイワマン
27	ペルー 7 ネコだけが気にしています。	60.0 × 80.0	サクサイワマン
28	ペルー 8 雨が続き小川が溢れています。濡れたくありません。	60.0 × 80.0	サクサイワマン
29	ペルー 9 牧場を走りまわるドロテアにとって、このくらいの距離、なんてことはありません。	60.0 × 80.0	サクサイワマン
30	ペルー10 インカ時代の石造りの家で暮らすオッドアイの子。	60.0 × 80.0	オリャンタイタンボ
31	ペルー11 屋根に上ると目の前にアンデス山脈がそびえます。	60.0 × 80.0	オリャンタイタンボ
32	ペルー12 インカ帝国にはどんなネコがいたのだろうと、オリャンタイタンボの遺跡を眺めます。	80.0 × 60.0	オリャンタイタンボ

チリ Chile

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
33	チリ1 朝日が射すと、ブランカが舞台に上がった女優のように見えます。	112.5×150.0	バルパライソ
34	チリ2 ヤギの放牧地は標高約2000メートル。ヤギ、イヌ、ニワトリ、そしてネコ、皆で7ヶ月暮らします。	60.0 × 80.0	マイポ・ヴァレー
35	チリ3 ご主人のお気に入りにはシロネコです。	60.0 × 80.0	マイポ・ヴァレー
36	チリ4 チリのヒトたちは信心深く厩舎にもマリア像が祀られています。	60.0 × 80.0	サンティアゴ
37	チリ5 厩舎で暮らすルシアは赤ちゃんを出産したばかり。	60.0 × 80.0	サンティアゴ
38	チリ6 小動物は競走馬にとって安らぎとなります。	80.0 × 60.0	サンティアゴ
39	チリ7 中央市場で暮らすシャキータ、グラマラスな美人歌手の名をもらいました。	60.0 × 80.0	サンティアゴ
40	チリ8 ベガ市場のタマゴ屋の看板ネコ、生卵をペロッと食べてしまいます。	60.0 × 80.0	サンティアゴ
41	チリ9 ネコを探しているのでしょ、とネコを抱いた少女が現れます。	60.0 × 80.0	バルパライソ
42	チリ10 昼寝の邪魔しちゃったね。	60.0 × 80.0	バルパライソ
43	チリ11 長い階段を上っていくとネコの好きそうな路地に入ります。	60.0 × 80.0	バルパライソ
44	チリ12 踊り場から階段の上がよく見える塀に飛び乗ります。	60.0 × 80.0	バルパライソ
45	チリ13 生きているネコはどこでしょう。	112.5×150.0	バルパライソ

リオデジャネイロ Rio de Janeiro

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
46	リオデジャネイロ 1 陽が高くなるとパラソルに入るシキンニョ。他意はないはずです。	160.0×240.0	コパカバーナ
47	リオデジャネイロ 2 コパカバーナビーチのシキンニョは”砂浜の王様”と呼ばれています。	60.0 × 80.0	コパカバーナ
48	リオデジャネイロ 3 軍隊の朝練習です。大きなかけ声にもシキンニョは動じません。	60.0 × 80.0	コパカバーナ
49	リオデジャネイロ 4 ご主人のバイクに乗りコパカバーナビーチへとやってきます。	60.0 × 80.0	コパカバーナ
50	リオデジャネイロ 5 ご主人は買い物中。バイクの上で待つシキンニョです。	60.0 × 80.0	コパカバーナ
51	リオデジャネイロ 6 コパカバーナビーチを見下ろす店で。椅子でもこのポーズです。	112.5×150.0	コパカバーナ
52	リオデジャネイロ 7 郵便ポストを意識しているのでしょうか。	60.0 × 80.0	セラロンの階段
53	リオデジャネイロ 8 カバキニョ奏者の家で暮らすノエルは11才のオス。	60.0 × 80.0	リオデジャネイロ
54	リオデジャネイロ 9 「生きものは好きだから平気よ」と、鞆の上に見知らぬネコが寝てしまっても起こしません。	60.0 × 80.0	フラメンゴ公園

スペイン Spain

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
55	スペイン 1 日中は日差しが強いので影で休みます。	112.5×150.0	カピレイラ
56	スペイン 2 小柄なネコが多いシエラネバダ山脈の集落。屋根から塀への大ジャンプです。	60.0 × 80.0	カピレイラ

57	スペイン 3	石造りの家に暮らすミケたちが、光で遊ぶように飛び跳ねます。	60.0 × 80.0	カピレイラ
58	スペイン 4	ミケに関しては、顔模様でも性格付けしたくなります。	60.0 × 80.0	カピレイラ
59	スペイン 5	切り立った崖の上にあるクエンカの街。ネコのバランス感覚に感心するばかりです。	112.5×150.0	クエンカ
60	スペイン 6	初夏なのに朝の気温は3℃、日が射し始めるとネコが集まってきます。	80.0 × 60.0	パトネス・デ・アリーバ
61	スペイン 7	「屋根の上のネコ」が多い街です。	60.0 × 80.0	パトネス・デ・アリーバ
62	スペイン 8	ティングルトンは11才。年齢に関係なくおてんばです。	60.0 × 80.0	パトネス・デ・アリーバ
63	スペイン 9	オルモ（ニレの木という名）君がティングルトンを連れてきてくれます。	60.0 × 80.0	パトネス・デ・アリーバ
64	スペイン10	お日さまの匂いと花の香りを確かめます。	60.0 × 80.0	アラルコン
65	スペイン11	気がつくと屋根から見下ろされていました。	60.0 × 80.0	アラルコン
66	スペイン12	アリは8ヶ月のメス。ヒツジたちの動きを熱心に見ています。	112.5×150.0	アラルコン
67	スペイン13	満月の夜。屋根にネコが集まってきます。	60.0 × 80.0	アラルコン
68	スペイン14	日が暮れるとネコたちが、どこからともなく屋根の上に集まります。	60.0 × 80.0	アラルコン
69	スペイン15	静かな街を歩いていると、2階からご挨拶されます。	60.0 × 80.0	アタルベイタル
70	スペイン16	公園のネコたち。これ以上近づけません。	60.0 × 80.0	マドリード
71	スペイン17	本屋の看板ネコ、プレタは3才のメス。店主は彼女にベタ惚れです。	60.0 × 80.0	マドリード
72	スペイン18	ヒトもネコも集まる街中（まちなか）の家庭菜園。作業小屋のネットの上にファンピがいます。	60.0 × 80.0	マドリード

イングランド England

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地	
73	イングランド1	パブは開店の準備中です。主人が手際よく掃除をします。	112.5×150.0	ブリストル
74	イングランド2	子ネコの成長の早さには驚かされます。	60.0 × 80.0	ブリストル
75	イングランド3	ヒトとネコで溢れるパブの上に、静かな母子専用の部屋があります。	60.0 × 80.0	ブリストル
76	イングランド4	クラウスとアリエッティは双子の1才。音楽スタジオで暮らしています。	160.0×240.0	コッツウォルズ
77	イングランド5	外は雨。窓辺にやってくるハミングバードをパースニップが見上げています。	80.0 × 60.0	コッツウォルズ
78	イングランド6	ピアノの演奏が始まるとクラウスがやってきます。	60.0 × 80.0	コッツウォルズ
79	イングランド7	家の中から名前を呼ばれます。	60.0 × 80.0	コッツウォルズ
80	イングランド8	マスタードは8才のオス。コッツウォルズのネコたちはとても立派に見えます。	60.0 × 80.0	コッツウォルズ
81	イングランド9	ホテルの看板ネコのピング。向かいの教会の敷地が遊び場です。	60.0 × 80.0	コッツウォルズ

スコットランド Scotland

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
82	スコットランド1 ブラックネス城をパトロールするキッパー。日曜日はバグパイプの演奏があります。	60.0 × 80.0	エディンバラ
83	スコットランド2 潮が引いた朝、キッパーの散歩の範囲が広がります。	60.0 × 80.0	エディンバラ
84	スコットランド3 キッパーは城の中で、王様のように堂々と振る舞います。	112.5×150.0	エディンバラ
85	スコットランド4 フロドはスコティッシュ・ガーデンの庭師をしているボールさんと暮らしています。	60.0 × 80.0	ダンディー
86	スコットランド5 乗馬クラブのレストハウスの中庭で子ネコを見つけます。	60.0 × 80.0	グラスゴー郊外
87	スコットランド6 少しでも高い所から見たいようです。	60.0 × 80.0	グラスゴー郊外
88	スコットランド7 モーグリは1才のオス。ベンガル種ならではの活発な動きを見せてくれます。	60.0 × 80.0	グラスゴー郊外
89	スコットランド8 馬場の柵も怖がりません。	60.0 × 80.0	グラスゴー郊外
90	スコットランド9 モーグリのおかげで厩舎にはネズミがいません。	60.0 × 80.0	グラスゴー郊外
91	スコットランド10 スターリングの博物館。入り口でオズワルドが出迎えてくれます。	60.0 × 80.0	スターリング
92	スコットランド11 スターリング博物館のオズワルドは9才のオス。ウィリアム・ウォーレスを紹介してくれます。	80.0 × 60.0	スターリング

アムステルダム Amsterdam

No.	作品名		寸法(縦×横)cm	撮影地
93	アムステルダム1	1672年から使われている風車です。ボモルは15才のオス、目を細めると笑顔が見えます。	160.0×240.0	ストンブウェイク
94	アムステルダム2	ご主人が出てくるのを待っています。	60.0 × 80.0	ストンブウェイク
95	アムステルダム3	この小屋でボモルは寝起きしています。トリには手を出しません。	60.0 × 80.0	ストンブウェイク
96	アムステルダム4	風車の見えるところにいつもいます。	60.0 × 80.0	ストンブウェイク
97	アムステルダム5	下町のヨルダン地区。アパートの窓辺に子ネコが現れます。	60.0 × 80.0	アムステルダム
98	アムステルダム6	ボーは2才のオス。季節ごとに船の動きや水路が変化することを知っています。	112.5×150.0	アムステルダム

99	アムステルダム7	ノルウェー・ジャン・フォレスト・キャットのボー。運河をよく知っています。	60.0 × 80.0	アムステルダム
100	アムステルダム8	レストランはミコの散歩コースです。	60.0 × 80.0	アムステルダム
101	アムステルダム9	アパートの中庭はヒトとネコの憩いの場になっています。インディゴは7才のオス。	80.0 × 60.0	アムステルダム
102	アムステルダム10	毎朝、ヤッピーは出掛けるご主人をアパートの端まで見送ります。	60.0 × 80.0	アムステルダム

チェコ Czech

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
103	チェコ1 モルダウ川沿いにミケを見つけます。	112.5×150.0	チェスキー・クルムロフ
104	チェコ2 ヤン・アントニーヌ・マリアンヌという貴族の名をつけられたブリティッシュ・ショートヘア。	60.0 × 80.0	チェスキー・クルムロフ
105	チェコ3 クロムロフ城の館長執務室からはチェスキー・クルムロフの街を見下ろせます。	60.0 × 80.0	チェスキー・クルムロフ
106	チェコ4 子ネコは疲れ知らず。動きが止まる時は母ネコが来た時です。	60.0 × 80.0	プラハ郊外
107	チェコ5 子ネコは疲れ知らず。動きが止まる時は母ネコが来た時です。	60.0 × 80.0	プラハ郊外
108	チェコ6 ペルラは子ネコから離れて、自宅の隣にあるヴルトボフスカ庭園でくつろぎます。	60.0 × 80.0	プラハ郊外
109	チェコ7 人形劇の劇団兼工房で母ネコと暮らすファンキー。	60.0 × 80.0	ホシン
110	チェコ8 悪魔にすべてを取られてしまう王様を、助けるつもりでしょうか。	60.0 × 80.0	ホシン
111	チェコ9 遊びつかれて窓辺に行くと、寝てしまいます。	60.0 × 80.0	ホシン

モルドバ Moldova

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
112	モルドバ1 ティシャは3才のオス。こう見えてシャイです。	112.5×150.0	キシナウ
113	モルドバ2 ティシャが壁から顔だけ出します。	60.0 × 80.0	キシナウ
114	モルドバ3 ティシャがようやくベランダの下から出てきます。	60.0 × 80.0	キシナウ
115	モルドバ4 まるでハイタッチするように子ネコと接触します。	60.0 × 80.0	キシナウ
116	モルドバ5 ティシャの両隣、チュナ(右)、ムシャ(左)は姉妹です。	60.0 × 80.0	キシナウ
117	モルドバ6 イザオラはワインセラー兼貯蔵庫がお気に入りです。	60.0 × 80.0	キシナウ
118	モルドバ7 イザオラと母親のマシカはとても仲良しです。	60.0 × 80.0	キシナウ
119	モルドバ8 子ネコと子ヤギが見つめ合い何かを確認しています。	60.0 × 80.0	キシナウ
120	モルドバ9 マックスは2才のオス。季節外れの大雪に驚いているのでしょうか。	60.0 × 80.0	キシナウ
121	モルドバ10 モルドバはクルミが名産。クルミの大木の上でマックスが昼寝をします。	112.5×150.0	クリコバ
122	モルドバ11 集合住宅の玄関先で母子が日向ぼっこをしています。	60.0 × 80.0	クリコバ
123	モルドバ12 市場の人気者、ドドンは年齢不詳のオス。	60.0 × 80.0	キシナウ
124	モルドバ13 ドドンは時の大統領の名です。	60.0 × 80.0	キシナウ

アラブ首長国連邦 United Arab Emirates

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
125	アラブ首長国連邦1 早朝、アル・アインの砂丘を散歩するミンナークです。	160.0×240.0	アル・アイン
126	アラブ首長国連邦2 ラクダも砂丘に出かけます。	60.0 × 80.0	アル・アイン
127	アラブ首長国連邦3 生後6ヶ月やんちゃ盛り。ラクダの動きに興味深々です。	60.0 × 80.0	アル・アイン
128	アラブ首長国連邦4 夜明け前、砂漠の家に着くとナナが迎えてくれます。	60.0 × 80.0	アル・アイン
129	アラブ首長国連邦5 風で舞う砂が腹の下を通して行きます。	60.0 × 80.0	アル・アイン
130	アラブ首長国連邦6 オアシスのようなナツメヤシの林、あびの縄張りです。	112.5×150.0	アル・アイン
131	アラブ首長国連邦7 オールドスークの衣料店の店先で、ピンキーは赤ちゃんを産みました。	60.0 × 80.0	ドバイ
132	アラブ首長国連邦8 アブラ(渡し舟)の乗り場にカラヤンがやってきます。	60.0 × 80.0	ドバイ
133	アラブ首長国連邦9 どこでも寝てしまうカラヤン、道行くヒトが避けてくれます。	60.0 × 80.0	ドバイ
134	アラブ首長国連邦10 オールドスークの朝。	80.0 × 60.0	ドバイ

スリランカ United Sri Lanka

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
135	スリランカ1 ミスイは6才のメス。紅茶畑に家があります。	160.0×240.0	ヌワラエリヤ
136	スリランカ2 大岩に乗るミスイ、紅茶畑のライオンクイーンです。	112.5×150.0	ヌワラエリヤ
137	スリランカ3 畑の作業を見てから事務所に寄りミルクティをいただきます。	60.0 × 80.0	ヌワラエリヤ

138	スリランカ4	メニカは3 4才のメスゾウ。川に水を飲みにきた子持ちのサビネコとは顔見知りです。	60.0 × 80.0	ヌワラエリヤ
139	スリランカ5	朝の庭掃除。手伝いをしているつもののでしょうか、忙しく歩きます。	60.0 × 80.0	ゴール
140	スリランカ6	お坊さんのつもりなのでしょう。	60.0 × 80.0	ゴール
141	スリランカ7	奥で経を読む僧侶の声を聞きながら、もうすぐ母親となるメスがくつろいでいます。	60.0 × 80.0	ゴール
142	スリランカ8	果敢な子ネコですが、ヤシの木には登れません。	150.0×112.5	ゴール
143	スリランカ9	漁師の奥さんとも仲良しです。	60.0 × 80.0	ゴール
144	スリランカ10	スリランカの伝統漁法「竹馬漁」漁師のご主人から小魚をもらいます。	60.0 × 80.0	ゴール

オーストラリア Australia

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
145	オーストラリア1	キットカットは4ヶ月のメス。やんちゃ盛りで何でも興味を示します。	112.5×150.0 ミラ・ミラ
146	オーストラリア2	椅子の背に乗るキバタンの番いは4 0才を越えています。	80.0 × 60.0 ミラ・ミラ
147	オーストラリア3	キットカットが突然、ワラビーの石像に飛びつきます。	60.0 × 80.0 ミラ・ミラ
148	オーストラリア4	コーヒー農園のフレッドは甘えん坊。ご主人のビルのことを親だと思っているようです。	60.0 × 80.0 マリーバ
149	オーストラリア5	バディの家の広い庭には、スナイロワラビーの群れがやってきます。	60.0 × 80.0 ケアンズ郊外
150	オーストラリア6	ムッシーマウスは8才のオス。釣果を期待して沖に行きます。	60.0 × 80.0 ケアンズ
151	オーストラリア7	ヨットが揺れ始めるとすぐにここへ入ります。	60.0 × 80.0 ケアンズ
152	オーストラリア8	「どうした?」とご主人が聞くと小さく口を開いて答えます。	60.0 × 80.0 ケアンズ
153	オーストラリア9	とても2 2才とは思えません。	60.0 × 80.0 ヤラ・バレー
154	オーストラリア10	チェロの縄張りには広く、歩いては休んでを繰り返しますが、強脚です。	60.0 × 80.0 ヤラ・バレー
155	オーストラリア11	ワイナリーのチェロは毎朝、農園をパトロールします。	60.0 × 80.0 ヤラ・バレー
156	オーストラリア12	牧場で暮らすジョシーは1 2才のメス。預かっているウマに興味津々です。	112.5×150.0 ヤラ・バレー

バリ島 Bali

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
157	バリ島1	広い縄張りを持つクニン、棚田からやってきます。	112.5×150.0 ジャティルイ
158	バリ島2	ウシにも動じません。	60.0 × 80.0 ジャティルイ
159	バリ島3	お祈りが終わると、クニンがすかさず祠のお供え物をいただきます。	60.0 × 80.0 ジャティルイ
160	バリ島4	朝露がイネの葉先からほとばしります。	60.0 × 80.0 ジャティルイ
161	バリ島5	広い川幅もなんてことはありません。	60.0 × 80.0 ジャティルイ
162	バリ島6	マニスの家は仏像を彫っています。遊び場には困りません。	60.0 × 80.0 ウブド
163	バリ島7	いつも仰向けで寝ます。インドネシア語で甘いという名を持つマニスです。	60.0 × 80.0 ウブド
164	バリ島8	仏像はフランスでとても人気があり、輸出されています。	80.0 × 60.0 ウブド
165	バリ島9	寺の駒獅子の足元にミケを見つめます。ギンガムチェックは陽と陰、光と影を表すそうです。	80.0 × 60.0 デンパサール
166	バリ島10	ネコはシバ神の化身であるバロン（獅子）の生まれ変わりだと、お坊さんは言います。	60.0 × 80.0 デンパサール
167	バリ島11	漁港にはネコの隠れ処がたくさんあります。	60.0 × 80.0 ジャンバランビーチ

瀬戸内海 Setonaikai

No.	作品名	寸法(縦×横)cm	撮影地
168	瀬戸内海1	何も持っていなくてもネコが集まってきます。	112.5×150.0 香川県、男木島
169	瀬戸内海2	遠くても、しなやかな体のラインに目が止まります。	60.0 × 80.0 香川県、男木島
170	瀬戸内海3	ネコの動きを見るたび、ネコになりたいと思います。	112.5×150.0 愛媛県、青島
171	瀬戸内海4	ネコと漁網はよく似合う。	60.0 × 80.0 愛媛県、青島
172	瀬戸内海5	建物の陰で涼んでいます。その数5 0匹以上。画面に入りません。	60.0 × 80.0 愛媛県、青島
173	瀬戸内海6	子ネコの好奇心が溢れています。	60.0 × 80.0 愛媛県、青島
174	瀬戸内海7	風情のある古家を見つけると、ついてきたクジが縁側に乗ります。	60.0 × 80.0 香川県、佐柳島
175	瀬戸内海8	4 0 0段もある神社の石段を、落椿が紅く染めます。	112.5×150.0 香川県、佐柳島

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』	文化欄「岩合光昭の世界ネコ歩き2」4/17、4/19
『朝日新聞』	社会欄「岩合光昭の世界ネコ歩き2」4/9
『北鹿新聞』	文化欄「岩合光昭の世界ネコ歩き2」5/9
『秋田魁新報』	みなみの広場「岩合光昭の世界ネコ歩き2」入場者情報について6/8
『朝日新聞』	4/24
『河北新報社』	5/16
『横手市報』	4月号
『あおぼ』	4月号
『ザ・マイカー』	4月号
『あんどなう』	4月号
『マリマリ』	4/5
『ra・kra』	5・6月号

【テレビ】

ABS秋田放送	エブリイ「岩合光昭の世界ネコ歩き2」アーティストトークについて5/3
ABS秋田放送	エブリイ「岩合光昭の世界ネコ歩き2」入場者1万人達成について5/24
NHK仙台放送局	もりすた！「岩合光昭の世界ネコ歩き2」について5/8、5/14、5/27



展示室内の様子



「ペットショップ金鳥園」社長の藤田さんと、ABSアナウンサーさんによるスペシャルギャラリートーク 6/8



岩合光昭さんギャラリートーク 5/3
午前も午後も、多くの方にお集まりいただきました。



5月24日には入場者1万人を達成。
廊下掲示の「ネコ割写真」は会期中に1600枚を超えました。

ii. 特別展

秋田県立近代美術館開館25周年

ビッグコミック50周年展

会 期 2019(令和元)年7月6日(土)～9月8日(日)【65日間】
主 催 ビッグコミック50周年秋田展実行委員会
(ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)
協 力 小学館ビッグコミック編集部
特別協力 京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター
後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび
担 当 鈴木秀一、藤井正輝

マンガが若者たちの文化として広がり始めた1960年代に登場し「大人のためのコミック誌」という領域を切り拓いた『ビッグコミック』。その軌跡は、マンガが子どものためのものから大人も楽しめるものへと変わっていく歴史的な変革の過程でもあった。本展では、戦後マンガ史にその名を刻んだ巨匠たちの力作から、今まさに大人の読者のためのドラマを紡ぐ作家たちの作品まで、誌面を飾った数々の名作とともに半世紀の歩みを総覧した。



第1展示室

作品名	作家名	寸法(縦×横)cm
寄せ書きパネル	作家(複数)	B2 × 2枚

第1章『ビッグコミック』50年の歩み

「野犬」複製	白土三平	42.0 × 29.7
「探し屋はげ鷹登場」複製	さいとう・たかを	47.5 × 35.2
「妖花アラウネ」複製	水木しげる	47.5 × 35.2
「地球を呑む」複製	手塚治虫	47.5 × 35.2
「佐武と市捕物控」複製	石ノ森章太郎	47.5 × 35.2
「ミノタウロスの血」複製	藤子・F・不二雄	47.5 × 35.2
「土佐の一本釣り」複製	青柳祐介	47.5 × 35.2
「さそり」複製	篠原とおる	47.5 × 35.2
「のたり松太郎」複製	ちばてつや	47.5 × 35.2
「黒いせえるすまん」複製	藤子不二雄A	57.0 × 42.0
ビッグを語ろう 第1回	藤子不二雄A	B2横
ビッグを語ろう 第2回	北見けんいち	B2横
ビッグを語ろう 第3回	ちばてつや	B2横
ビッグを語ろう 第4回	永井豪	B2横
ビッグを語ろう 第5回	さいとう・たかを	B2横
ビッグを語ろう 第6回	小西湧之助	B2横
ビッグを語ろう 第7回	松本零士	B2横
ビッグを語ろう 第8回	串田光弘	B2横
ビッグを語ろう 第9回	白土三平	B2横
ビッグを語ろう 第10回	夏目房之介	B2横
ビッグを語ろう 第11回	山田洋次	B2横
ビッグを語ろう 第12回	荒俣宏	B2横
ビッグを語ろう 第13回	楳図かずお	B2横
ビッグを語ろう 第14回	黒鉄ヒロシ	B2横

ビッグを語ろう 第15回	弘兼憲史	B2横
ビッグを語ろう 第16回	浦沢直樹	B2横
ビッグを語ろう 第17回	呉智英	B2横
ビッグを語ろう 第18回	萩尾望都	B2横
ビッグを語ろう 第19回	秋本治	B2横
ビッグを語ろう 第20回	吉留博之	B2横
ビッグを語ろう 第21回	横尾忠則	B2横
ビッグを語ろう 第22回	大友克洋	B2横
ビッグを語ろう 第23回	長崎尚志	B2横
ビッグを語ろう 第24回	金子ナンペイ	B2横
ビッグを語ろう 創刊号等	作家（複数） —	モニター動画 本誌複数冊

第2展示室

作品名	作家名	寸法(縦×横) cm
「茶箱広重」複製	一ノ関圭	47.5 × 35.2
「HOTEL」複製	石ノ森章太郎	47.5 × 64.9
「カムイ外伝」複製	白土三平	57.0 × 42.0
「総務部総務課山口六平太」複製 本誌展示	林律雄・高井研一郎 —	47.5 × 35.2 本誌複数冊
「家族の食卓」複製	柴門ふみ	47.5 × 35.2
「どんぐりの家」複製	山本おさむ	47.5 × 57.0
「墨攻」複製	酒見賢一	47.5 × 35.2
「ルームメイツ」複製	近藤ようこ	47.5 × 35.2
「犬を飼う」複製	谷口ジロー	47.5 × 35.2
「黄金のラフ」複製	なかいま強	47.5 × 64.9
「かむろば村へ」複製	いがらしみきお	47.5 × 64.9
「遅咲きじじい」複製	小林よしのり	47.5 × 35.2
「ダブル・フェイス」複製	細野不二彦	47.5 × 35.2
「築地魚河岸三代目」複製 本誌展示	はしもとみつお —	47.5 × 35.2 本誌複数冊
「レインマン」複製	星野之宣	42.0 × 31.2
「上京花日」複製	いわしげ孝	47.5 × 35.2
「BLUE GIANT」複製	石塚真一	47.5 × 57.0
「Sエスー最後の警官」複製	藤堂裕	47.5 × 64.9
「ゲゲゲの家計簿」複製	水木しげる	47.5 × 35.2

第2章 現在進行形の『ビッグコミック』

「アルティストは花を踏まない」原画	小日向まるこ	47.5 × 35.2
「江戸の検視官」複製・原画	高瀬理恵	42.0 × 57.0
「黄金のラフⅡ～草太の恋～」複製・原画	なかいま強	47.5 × 35.2
「機械仕掛けの愛」原画	業田良家	47.5 × 35.2
「C級さらりーまん講座」原画	山科けいすけ	47.5 × 35.2

第3展示室

作品名	作家名	寸法(縦×横) cm
「正直不動産」複製	大谷アキラ	47.5 × 35.2
「昭和トラベラー」原画	北見けんいち	42.0 × 57.0
「川柳フレンズ」複製	石原まこちん	47.5 × 35.2
カットアウトパネル ギャラリーフェイク	細野不二彦	170.0 × 57.0
「ギャラリーフェイク」原画	細野不二彦	47.5 × 35.2
「空母いぶき」複製・原画	かわぐちかいじ	47.5 × 64.9

「ゴルゴ13」複製・原画	さいとう・たかを	47.5 × 64.9
カットアウトパネル ゴルゴ13	さいとう・たかを	182.0 × 66.0
「そのたくさんが愛のなか。」原画	吉田聡	42.0 × 57.0
「年金人間ヒトモジ」複製・原画	間瀬元朗	47.5 × 35.2
「はっぴーえんど」複製・原画	魚戸おさむ	47.5 × 35.2
「バディ・ドッグ」複製・原画	細野不二彦	47.5 × 35.2
「病院で念仏を唱えないでください」複製・原画	こやす珠世	47.5 × 35.2
「フォーシーム」複製・原画	さだやす圭	42.0 × 57.0
「BLUE GIANT SUPREME」複製・原画	石塚真一	42.0 × 57.0
「北極百貨店のコンシェルジュさん」複製	西村ツチカ	47.5 × 35.2
「ましる日」複製・原画	香川まさひと	47.5 × 35.2
「モディリアアーニにお願い」原画	相澤いくえ	47.5 × 35.2
「US-2 救難飛行艇開発物語」原画	月島冬二	47.5 × 35.2
「諸星大二郎劇場」複製・原画	諸星大二郎	47.5 × 57.0
「人生ことわざ面白“漫”辞典」複製	西原理恵子他	42.0 × 31.2
「ショパンの事件簿」複製	北原雅紀他	42.0 × 31.2
「剣々豪々」複製	山科けいすけ	47.5 × 35.2
「知らんぷり劇場」複製	岩谷テンホー	47.5 × 35.2
「今日も、なんとか生きてます。」原画	北沢バンビ	47.5 × 35.2
「ひねもすのたり日記」原画	ちばてつや	47.5 × 35.2
「海帝」複製・原画	星野之宣	47.5 × 35.2
「TALKING DEAD」複製・原画	葉野宗介	47.5 × 35.2
「赤兵衛」複製・原画	黒鉄ヒロシ	47.5 × 35.2
表紙イラスト	金子ナンペイ	42.0 × 31.2
表紙イラスト	日暮修一	64.9 × 47.5

第4展示室

作品名	作家名	寸法(縦×横)cm
「劉邦」複製・原画	高橋のぼる	42.0 × 57.0
高橋のぼる特設コーナー	高橋のぼる	

第3章『ビッグ』な名作アラカルト 『ビッグコミックの壁』ビッグコミック本誌を展示

ビッグの壁 ビッグコミック本誌 570冊展示	ー
フォトスポット フォーシーム	さだやす圭
フォトスポット 空母いぶき	かわぐちかいじ
フォトスポット BLUE GIANT SUPREME	石塚真一

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

秋田魁新報	1/3、7/4
毎日新聞	6/28
北鹿新聞	7/12
河北新報	7/22
『市報よこて』	6/15、7/1、7/15、8/1、8/15、9/1
『Mari Mari』	6/29
『ザ・マイカー』	6/20号
『Bouquet』	6/29
『教育あきた』	6月号
『SING』	7/14
『秋田ふるさと村NEWS』	7・8月号
『秋田タウン情報』	7月号

『美術屋百兵衛』	第46号
『Take up!』	7月号
『ra・kra』	7・8月号
『あっぷる』	7月号
『月刊アンドナウ』	7月号、8月号
『MamaFami』	7・8月号
『どあっぷ』	7月号
『クルール』	8月号
『仙台闊歩』	9月号
『美術の窓』	9月号

【テレビ・ラジオ】

ABS秋田放送	6/24、6/29、7/4、7/6、7/13、8/6、8/16
NHK秋田放送局	6/29
エフエム秋田	7/6
エフエムゆうとぴあ	7/17

【Web】

美術手帖ART NAVI	6月中旬～会期終了
ART AGENDA	6月中旬～会期終了



開会式（5階中央ホール） 7/5
式には“なまずくん”も来てくれました。



高橋のぼる × ビッグコミック スペシャルトークショー 7/6
ゲスト：漫画家 高橋のぼる氏、ビッグコミック編集長 由田和人氏



ビッグの壁 5階 第4展示室
ビッグコミック本誌570冊の展示は圧巻。（画像は壁の一部）



なまずくんと記念撮影をしよう！ 7/14
ビッグコミック公式キャラクター「名前は“なまず吾朗”だよ。」

iii. 特別展

秋田魁新報創刊145年 秋田県立近代美術館開館25周年
若冲と京の美術 —京都 細見コレクションの精華—

会 期 2019(令和元)年9月14日(土)～11月10日(日)【57日間】
主 催 若冲と京の美術展実行委員会
(秋田魁新報社・ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)
細見美術館
後 援 横手市／横手市教育委員会／横手かまくらFM／
エフエムゆーとぴあ／FMはなび
企画協力 アートワン
担 当 保泉 充、小林紀子

本展では「京(みやこ)」をキーワードに、京都市にある細見美術館のコレクションから伊藤若冲の作品を中心に、名所図や物語絵、蒔絵、茶陶・茶の湯釜などを通して、日本美術の多彩な魅力を紹介した。記念講演会では、細見良行館長から細見コレクションの魅力と人気の若冲についてお話を伺い、またABSアナウンサーと担当学芸員によるギャラリートークや墨によるワークショップを開催するなど、来館者に展覧会をより深く楽しんでいただくことができた展覧会となった。



都に遊ぶ一名所遊楽と祭礼の世界一			◎：重要文化財	○：重要美術品	
No 期	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	東山名所図屏風		桃山時代	紙本金地著色4曲1双	各 83.4 × 175.4
2	北野社頭図屏風	「棕政」印	江戸前期	紙本金地著色6曲1隻	75.5 × 271.4
3	洛外図屏風		江戸前期	紙本著色6曲1隻	153.5 × 349.0
4	賀茂社競馬図屏風		江戸前期	紙本金地著色8曲1隻	86.2 × 357.0
5	祇園祭礼図屏風		江戸前期	紙本著色6曲1双	各145.2 × 356.8
6	東山四条河原遊楽図屏風		江戸前期	紙本著色6曲1隻	38.6 × 192.2
7 場面替	四条河原図巻		江戸前期	紙本著色一卷	34.5 × 760.5
8 場面替	遊楽図扇面		江戸前期	紙本著色10面	各 17.0 × 35.5
9	遊楽図高坏		江戸前期	陶胎胡粉地彩色1基	径 12.8 × 高12.0
10	桜幔幕蒔絵重箱		江戸前期	木製漆塗1合	26.5×24.2×37.5
11	菊花蒔絵十種香箱		江戸中期	木製漆塗他1具	20.8×19.8×15.7
12	若松楓蒔絵提重		江戸後期	木製漆塗他1具	34.6×20.0×33.7
13	薬玉図	土佐光孚	江戸後期	紙本著色1幅	85.0 × 25.0
14	合せ貝		江戸後期	貝・金地彩色2対	各 6.5 × 8.3
15	やすらい祭・牛祭図屏風	浮田一蕙	江戸後期	紙本著色6曲1双	各139.0 × 271.0
16 前・	京名所図屏風		江戸後期	紙本金地著色6曲1双	各156.9 × 362.0
17 後	賀茂競馬図屏風		江戸末期	紙本金地著色6曲1双	各157.2 × 358.8

都の美意識 I —王朝のみやび—

No 期	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
18 前・	○「貫之集」巻下 断簡〈石山切〉	藤原定信	平安後期	彩箋墨書1幅	22.0 × 31.0
19 後	◎明恵上人仮名消息(井上尼宛)	明恵高弁	鎌倉時代	紙本墨書1幅	29.7 × 93.7
20 前・	時代不同歌合絵巻 断簡		鎌倉末期	紙本墨画1幅	27.5 × 50.3
21 場面替	◎山王霊験記絵巻		室町時代	紙本著色1巻	32.6 × 922.5
22	撫子図屏風		江戸前期	紙本金地著色6曲1隻	63.3 × 264.8

23	忍草下絵和歌巻 断簡	本阿弥光悦 書 俵屋宗達 下絵	江戸前期	紙本墨書・金銀泥1幅	32.3 × 47.5
24	水葵下絵和歌色紙	本阿弥光悦 書	江戸前期	紙本墨書・雲母摺り1幅	20.3 × 17.0
25	和歌短冊	本阿弥光悦 書	江戸前期	紙本墨書・金銀泥1幅	36.0 × 5.7
26	歌仙絵色紙	小野通女	慶長二年(1597)	紙本著色1幅	29.2 × 26.1
27	歌仙絵色紙「源順」	岩佐又兵衛	江戸前期	紙本著色1幅	31.6 × 28.3
28	歌仙絵色紙「藤原仲文」	俵屋宗達	江戸前期	紙本著色1幅	27.7 × 24.7
29	伊勢物語かるた	伝 葛岡宣慶 書	江戸前期	紙本著色・紙本墨書1具のうち 各札	9.0 × 6.0
30 場面替	伊勢物語図	野崎真一	江戸末～明治中期	絹本著色4枚	各 16.7 × 20.0
31	伊勢物語図扇面「河内越」	神坂雪佳	大正末～昭和初期	紙本著色1幅	20.3 × 59.0
32	源氏物語図屏風「総角」	岩佐又兵衛	江戸前期	紙本金地著色6曲1隻	155.0 × 351.0
33	源氏物語図色紙		江戸前期	紙本著色7面	各 20.4 × 17.4
34 前・	狭衣物語絵巻 断簡 (藤)		江戸前期	紙本著色1幅	29.8 × 37.1
35 ・後	狭衣物語絵巻 断簡 (山吹)		江戸前期	紙本著色1幅	32.3 × 52.9
36	清少納言観雪図	鈴木守一	江戸後期	絹本著色1幅	105.7 × 40.0
37	四季花木図屏風	冷泉為恭	江戸後期	紙本淡彩6曲1隻	105.5 × 275.0
38	小倉山蒔絵硯箱		江戸前期	木製漆塗1合	22.8×19.5×4.0
39	定家詠月次花鳥蒔絵重硯箱		江戸前期	木製漆塗1合	18.6×26.1×19.7
40 場面替	定家詠月次花鳥図	野崎真一	江戸末～明治中期	絹本著色4枚	各 16.7 × 20.0

都の美意識Ⅱ－茶の湯の心－

No	期	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
41		墨蹟	蘭溪道隆	鎌倉時代	紙本墨書1幅	51.5 × 76.8
42 前・		墨蹟	大休正念	鎌倉時代	紙本墨書1幅	106.7 × 21.3
43 ・後		墨蹟	春屋妙葩	南北朝時代	紙本墨書1幅	126.8 × 24.4
44		○豊臣秀吉自筆書状(いわ宛)	豊臣秀吉	天正十六年(1588)	紙本墨書1幅	28.9 × 85.6
45		利休消息	千利休	桃山時代	紙本墨書1幅	26.6 × 42.3
46		◎芦屋霰地楓鹿図真形釜		室町時代	鉄製鑄造1口	口径14.8×胴径25.9×高19.7
47		芦屋松藤図真形釜		室町時代	鉄製鑄造1口	口径13.5×胴径23.3×高16.0
48		桜図肩衝釜		桃山時代	鉄製鑄造1口	口径12.5×胴径21.4×高18.0
49		龍宝山鉄風炉		桃山時代	鉄製鑄造1口	胴径47.7×高28.5
50		志野茶碗 銘「弁慶」		桃山時代	施釉陶器1口	口径13.5×高9.8
51		瀬戸黒茶碗 銘「鳴門」		江戸前期	施釉陶器1口	口径 7.9×高11.0
52		黒織部杵形茶碗		江戸前期	施釉陶器1口	口径10.7×胴径12.9×高6.7
53		志野宝珠形香合		桃山時代	施釉陶器1合	径 5.0 × 高4.0
54		織部菊兜香合		桃山時代	施釉陶器1合	径 5.2 × 高4.6
55		織部分銅形香合		桃山時代	施釉陶器1合	径 4.3 × 高3.9
56		信楽水指 銘「赤富士」		江戸中期	施釉陶器1口	径14.0 × 高17.3
57		銕絵馬図角皿	尾形乾山	江戸中期	施釉陶器1枚	22.0×22.0×2.2
58		銕絵牡丹唐草文向付	尾形乾山	江戸中期	施釉陶器5客	各13.2×13.1×4.9
59		色絵唐子図筆筒	尾形乾山	江戸中期	施釉陶器1口	口径10.4×高11.8
60		七宝舟形釣花入		江戸前期	有線七宝1口	長径32.9×短径12.3
61		七宝八角水指		江戸中～後期	有線七宝1合	口径21.4×17.1×高21.6
62		七宝手付菓子盆		江戸中～後期	有線七宝1口	24.0×25.7×高12.6
63		七宝五七桐紋釘隠付風炉先屏風		江戸前期(釘隠)	象嵌七宝(釘隠)2曲1隻	39.5 × 172.2

若冲と都の絵師－華ひらく個性－

No	期	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
64		平家納経 (模本) 「化城喩品」「囑累品」 表紙絵・見返し絵	田中親美 俵屋宗達(原画)	大正時代	紙本金銀泥著色各1巻	化城喩品 25.9 × 693.6 囑累品 25.5 × 120.7

65 前・	四季草花図屏風	「伊年」印	江戸前期	紙本金地著色6曲1双	各155.5 × 347.2
66 ・後	四季草花桜楓図屏風	「伊年」印	江戸前期	紙本著色6曲1双	各157.5 × 347.2
67	墨竹図	尾形光琳	江戸中期	紙本墨画1幅	21.0 × 22.3
68	秋草図団扇	「成乙」印	江戸中期	紙本金地著色1幅	22.0 × 26.3
69	朝顔図	中村芳中	江戸後期	絹本著色1幅	97.7 × 33.2
70	金魚玉図	神坂雪佳	明治末頃	絹本著色1幅	105.7 × 35.8
71	四季草花図	神坂雪佳	大正後期	絹本著色双幅	各120.3 × 26.9
72	御所人形図	神坂雪佳	大正時代	絹本著色1幅	25.4 × 21.7
73	月下秋草図	松村景文	江戸後期	絹本淡彩1幅	109.3 × 41.7
74	江口君図	田中訥言 松村景文	江戸後期	紙本著色1幅	82.9 × 25.0
75	楚蓮香図	山口素絢	文化六年(1809)	絹本著色1幅	112.0 × 48.2
76	児島湾真景図	池大雅	江戸中期	絹本著色1幅	99.7 × 37.6
77	富士望見図	青木木米	文政七年(1824)	紙本墨画淡彩1幅	31.4 × 54.2
78 前・	雪中雄鶏図	伊藤若冲	江戸中期	紙本著色1幅	114.2 × 61.9
79 ・後	糸瓜群虫図	伊藤若冲	江戸中期	絹本著色1幅	111.6 × 48.4
80	風竹図	伊藤若冲	江戸中期	絹本墨画1幅	103.0 × 38.5
81	瓢箪・牡丹図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画双幅	各幅114.5 × 46.0
82	仔犬に箒図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画1幅	99.5 × 27.8
83	花鳥図押絵貼屏風	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画6曲1双	各幅126.5 × 53.0
84	海老図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画1幅	109.4 × 28.7
85	伏見人形図	伊藤若冲	江戸中期	紙本著色1幅	93.6 × 28.5
86	萬歳図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画1幅	105.2 × 29.8
87	蛇に双鶏図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画1幅	37.3 × 53.3
88 ・後	群鶏図	伊藤若冲	寛政八年(1796)	紙本墨画1幅	143.5 × 52.5
89 前・	里芋図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画1幅	110.6 × 40.8
90	関羽像	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画1幅	87.8 × 29.8
91	踏歌図	伊藤若冲	江戸中期	絹本墨画1幅	103.5 × 35.0
92	宝珠に小槌図	伊藤若冲	寛政十二年(1800)	紙本墨画1幅	94.6 × 28.8
93	遊鶏図押絵貼屏風	若演	江戸後期	紙本墨画6曲1双	各幅125.8 × 47.2
94	釣瓶に鶏図	若演	江戸後期	紙本墨画1幅	114.8 × 42.8

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』	作品解説①（細見美術館 伊藤京子 主任学芸員）	9/10	
『秋田魁新報』	作品解説②（	〃	） 9/11
『秋田魁新報』	作品解説③（	〃	） 9/12
『秋田魁新報』	作品解説④（	〃	） 9/13
『秋田魁新報』	作品解説⑤（	〃	） 9/14
『秋田魁新報』	9/18、9/20、9/30、10/1、10/7、10/27		
『月刊美術』9・10月号			
『博物館研究』9・10月号			
『芸術新潮』10月号			
『ザ・マイカー』11月号			
『あっぷる』9月号			
『ra・kra』9・10月号			
『どあっぷ！』10月号			
『月刊アンドナウ』10月号・11月号			
『エリア・アイ』11月号			

【テレビ】

ABS秋田放送 テレビCM、ラジオCM、ウェブページで随時



前期は《里芋図》伊藤若冲（江戸中期）がお出迎え。さらに《祇園祭礼図屏風》と続き、全94点の名品が並びました。



9月13日に行われた内覧会では、細見良行館長より、作品の解説をしていただきました。



ABSアナウンサーさんと当館学芸員によるギャラリートーク。
9/22、10/20



講演会「細見コレクションと若冲」細見美術館長・細見良行氏より、コレクションの魅力をお話していただきました。9/14

iv. 特別展

没後130年 平福穂庵展

会 期 2019(令和元)年11月16日(土)～2020(令和2)年 2月2日(日)【65日間】
【休館】 12月29日(日)～12月31日(火) 年末休館
1月14日(火)～1月23日(木) メンテナンス休館

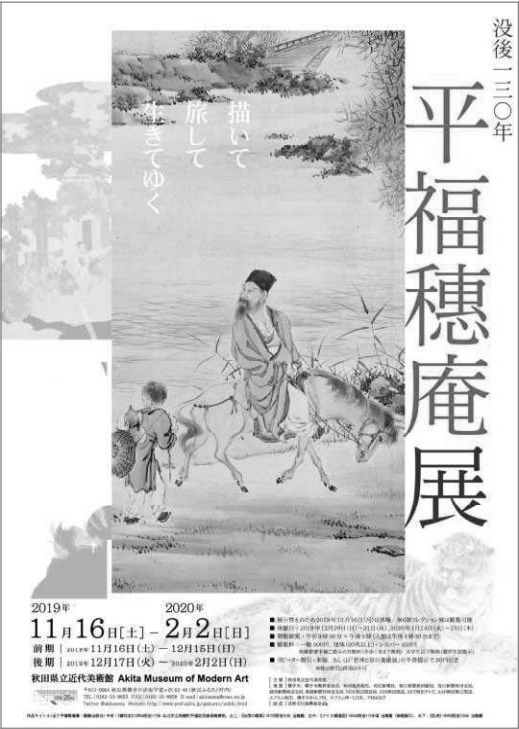
主 催 秋田県立近代美術館

後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞秋田支局／
産経新聞社秋田支局／NHK秋田放送局／ABS秋田放送／
AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび

助 成 日本芸術文化振興会

担 当 鈴木 京、保泉 充

角館出身の日本画家・平福穂庵（1844-1890）の没後130年を記念して穂庵の業績を振り返る展覧会。県内美術館、個人所有者からの作品を借用し、関連作家作品や資料をあわせて90点の作品数で穂庵の画業を編年的にたどる内容とした。冬期間の展示だったが、2196名の来場者をお迎えすることができた。会期中に行った2回のギャラリートークでは、合わせて70名もの方々にご参加いただくことができ、あらためて穂庵の人気の高さを実感した機会となった。



No	期	作品名	作者名	制作年	技法材質・員数	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	前後	韓世忠	平福穂庵	1884(明治17)	絹本着色六曲一隻	148.6 × 349.2	仙北市立角館町平福記念美術館 寄託

第一章 郷里・角館と京都一円山四条派に立つ

No	期	作品名	作者名	制作年	技法材質・員数	寸法(縦×横)cm	所蔵
2	前・	西王母	長山孔寅	18～19世紀	絹本着色 1幅	121.6 × 55.1	仙北市立角館町平福記念美術館
3	・後	孔雀図	長山孔寅	文化14(1817)	紙本着色 1幅	156.0 × 86.0	秋田県立近代美術館
4	前後	日出二鶴	常世翠巒	18～19世紀	絹本着色 1幅	97.6 × 32.1	個人蔵
5	前後	孔雀	武村文海	19世紀	紙本着色 1幅	132.7 × 57.8	仙北市立角館町平福記念美術館
6	前・	兔	平福文浪	19世紀	絹本着色 1幅	117.3 × 43.5	個人蔵
7	・後	翡翠	平福文浪	19世紀	紙本着色 1幅	60.4 × 27.3	個人蔵
8	前後	習画卷	平福文池(穂庵)	安政3(1856)	紙本着色 1巻	27.6 × 571.4	個人蔵
9	前後	楠亭画譜摹寫帖	平福文池(穂庵)	安政3(1856)秋	紙本墨画 1冊	30.3 × 41.8	仙北市立角館町平福記念美術館
10	前後	青雲帖	平福文池(穂庵)	1850年代後半	紙本墨画淡彩1冊	29.7 × 36.3	仙北市立角館町平福記念美術館
11	前後	秋田風俗十二景屏風(各期半双展示)	平福文池(穂庵)	安政5(1858)	紙本着色 6曲1双	各157.2 × 368.4	秋田県立近代美術館
12	前後	恵比須	平福文池(穂庵)	万延元(1860)	絹本着色 1幅	97.5 × 31.5	秋田県立近代美術館
13	前後	手紙(上洛道中)	平福文池(穂庵)	文久元(1861)	紙本墨書 1巻	15.3 × 136.2	仙北市立角館町平福記念美術館
14	前後	洛北勝遊画卷	—	文久元(1861)	紙本墨画淡彩1巻	14.6 × 487.4	仙北市立角館町平福記念美術館
15	前後	那智瀑布写生	平福文池(穂庵)	文久元(1861)	紙本墨画 1幅	73.5 × 26.5	仙北市立角館町平福記念美術館
16	前後	鈴木百年書簡	鈴木百年	明治24(1891)	紙本墨書 1点	—	秋田県立近代美術館
17	前・	芝居絵	平福穂庵	幕末～明治初期	紙本着色1点	90.9 × 120.0	秋田県立近代美術館
18 - 1	前後	押絵(三番叟・翁・千歳)	平福穂庵	幕末～明治期	布・木3点 三番叟	29.0×27.0×1.5	千代氏蔵
					翁	32.0×24.0×1.0	
					千歳	23.0×30.0×1.5	
18 - 2	前後	押絵(鏡山旧錦絵)	平福穂庵	幕末～明治期	布・木2点 岩藤	43.0×29.0×1.5	仙北市立角館樺細工伝承館寄託
					お初	38.0×50.0×1.5	

19	前後	紙蔭下絵	平福徳庵	制作年不詳	紙本墨画 1冊	40.0 × 29.3	仙北市立角館町平福記念美術館
20	前・	着物	平福徳庵	制作年不詳	布に着色 1点	—	仙北市立角館町平福記念美術館
21	前後	幟旗	平福文池(穂庵)	慶応2(1866)	木綿水墨 1点	524.0 × 61.0	個人蔵
22	前後	西園雅集	平福徳庵	慶応3(1867)	紙本着色2曲1隻	159.6 × 150.6	個人蔵
23	前後	林和靖	平福徳庵	慶応3(1867)	紙本着色 6曲1隻	131.0 × 324.4	個人蔵
24	・後	絵馬	平福徳庵	1860年代末か	板、顔料、砂子1点	66.2 × 147.8	仙北市立角館町平福記念美術館 寄託
25	・後	平元謹斎華甲記念屏風	—	明治3(1870)	紙本墨書・墨画2曲1隻	137.9 × 123.4	個人蔵

第二章 北海道遊歴と公募展での受賞—画家としての摸索期

No	期	作品名	作者名	制作年	技法材質・員数	寸法(縦×横)cm	所蔵
26	前後	加茂の競馬	平福徳庵	明治3(1870)	紙本着色襖6面	167.6 × 82.1	秋田県立近代美術館
27	前・	鷹図屏風	平福徳庵	明治初期	紙本墨画淡彩6曲1隻	120.5 × 254.4	菅原三朗氏蔵 初公開
28	・後	熊狩図(仮題)	平福徳庵	明治初期	紙本着色8曲1隻	86.7 × 322.2	鈴木松右衛門氏蔵
29	・後	蝦蟇仙人	平福徳庵	明治7(1874)	紙本墨画淡彩1幅	127.7 × 56.2	秋田県立近代美術館
30	前・	骸骨図	平福徳庵	明治9(1876)	紙本墨画1幅	136.5 × 53.0	仙北市立角館町平福記念美術館
31	前後	乞食図	平福徳庵	明治13(1880)	絹本墨画淡彩1幅	166.2 × 84.1	秋田県立近代美術館
32	・後	乞食図	平福徳庵	制作年不詳	絹本着色1幅	151.8 × 72.5	秋田県立近代美術館
33	前・	乞食図	平福徳庵	制作年不詳	絹本着色1幅	135.9 × 56.2	伊藤茂氏蔵
34	前・	アイヌ鮭漁図	平福徳庵	明治16(1883)頃	絹本着色1幅	106.5 × 41.2	秋田市立千秋美術館
35	前・	アイヌ鮭漁図(下絵)	平福徳庵	明治16(1883)頃	絹本着色1幅	83.6 × 41.6	秋田市立千秋美術館
36	前後	アイヌ鹿狩図	平福徳庵	制作年不詳	絹本墨画淡彩1点	30.6 × 106.6	個人蔵 初公開
37	・後	蝦夷風俗之図	平福徳庵	制作年不詳	絹本着色1幅	56.8 × 111.7	個人蔵 初公開
38	・後	松前アイヌ帰漁図	平福徳庵	制作年不詳	絹本着色1幅	127.0 × 57.2	仙北市立角館町平福記念美術館
39	前後	アイヌ捕漁図	平福徳庵	明治17(1884)頃	絹本着色1幅	129.8 × 60.1	秋田県立近代美術館
40	前・	函館港夜景	平福徳庵	明治18(1885)	絹本墨画1幅	30.3 × 62.0	個人蔵
41	前後	恵比寿大黒	平福徳庵	明治16(1883)9月	絹本着色1幅	125.0 × 57.0	個人蔵 初公開
42	前・	円窓美人図	平福徳庵	明治16(1883)頃	絹本着色1幅	101.7 × 33.5	秋田市立千秋美術館 寄託
43	・後	鶴ヶ岡静之舞	平福徳庵	明治16(1883)	絹本着色1幅	39.5 × 58.0	秋田県立近代美術館
44	・後	菅公像	平福徳庵	明治17(1884)4月	絹本着色1幅	101.6 × 41	個人蔵
45	・後	菅公像	平福徳庵	制作年不詳	絹本着色1幅	83.8 × 32.6	個人蔵
46	・後	歳寒仙呂図(仮題)	平福徳庵	明治18(1885)1月	絹本着色 額装1面	34.3 × 99.7	鈴木松右衛門氏蔵
47	前・	江邸雪霽	平福徳庵	明治18(1885)2月	絹本墨画 額装1点	33.4 × 117.5	個人蔵
48	前・	三顧草廬	平福徳庵	明治18(1885)3月	絹本着色1幅	132.5 × 56.9	秋田市立千秋美術館
49	前・	臥龍山三顧之図	平福徳庵	明治18(1885)頃	絹本着色1幅	128.1 × 42.8	個人蔵
50	前後	山静日長	平福徳庵	明治17(1884)	紙本墨画1幅	170.3 × 73.7	仙北市立角館町平福記念美術館
51	前後	絵馬	平福徳庵	明治18(1885)5月	板、顔料、砂子1点	50.4 × 82.8	仙北市立角館榊細工伝承館
52	前後	蘭亭曲水図	平福徳庵	明治18(1885)	紙本着色 襖14面	大襖 167.5×104.5 中襖 168.5×82.5 小襖 169.0×64.5	秋田県立近代美術館 寄託

第三章 秋田から東京へ—転機 東洋絵画会への参加

No	期	作品名	作者名	制作年	技法材質・員数	寸法(縦×横)cm	所蔵
53	前後	穂庵書簡	平福徳庵	明治19(1886)	— 1式	—	河原田次朗氏蔵
54	前・	黄初平図	平福徳庵	明治20(1887)	絹本着色1幅	128.4 × 50.8	秋田市立千秋美術館
55	前後	江口ノ君	平福徳庵	明治20(1887)	絹本着色1幅	112.0 × 54.8	秋田県立近代美術館 寄託
56	・後	墨堤舟游	平福徳庵	明治20(1887)	絹本着色1幅	127.5 × 55.0	秋田県立近代美術館
57	前後	墨水春色	平福徳庵	明治20(1887)	絹本着色1幅	34.5 × 108.0	個人蔵
58	前後	竹林七賢	平福徳庵	明治20(1887)	紙本墨画淡彩6曲1隻	161.0 × 485.0	仙北市立角館町平福記念美術館
59	前後	祐天上人霊夢	平福徳庵	明治22(1889)3月	絹本着色1幅	123.0 × 53.0	秋田県立近代美術館
60	前後	石川鴻斎著『夜窓鬼談』挿絵	平福徳庵	明治22(1889)	冊子 2冊	31.0 × 19.0	秋田県立近代美術館
61	前後	幸田露伴著『新著百種 風流仏』挿絵	平福徳庵	明治22(1889)	冊子 1冊	20.4 × 18.2	個人蔵

62	前後 資料	—	—	— 1式	38×25.8×10.5	仙北市立角館町平福記念美術館
63	前後 十六羅漢図模写	岡田琴湖	明治20(1887)	紙本着色1式	—	仙北市立角館町平福記念美術館

第四章 旅の終わり、画業の円熟

※【県有文】：秋田県指定有形文化財

No	期	作品名	作者名	制作年	技法材質・員数	寸法(縦×横)cm	所蔵
64	前後	松林煎茗	平福穂庵	明治18(1885)頃	絹本着色1幅	128.7 × 41.0	仙北市立角館町平福記念美術館
65	前後	緑蔭清談	平福穂庵	明治19(1886)	紙本墨画淡彩1幅	150.0 × 79.2	秋田県立近代美術館
66	前・	蕭何追韓信図	平福穂庵	明治19(1886)頃	絹本着色1幅	126.8 × 56.2	秋田県立近代美術館
67	・後	潯陽江図	平福穂庵	明治22(1889)	絹本着色1幅	129.2 × 55.9	仙北市立角館町平福記念美術館 寄託
68	前・	西王母	平福穂庵	明治23(1890)	絹本着色1幅	147.8 × 64.8	秋田県立近代美術館 寄託
69	・後	不動尊	平福穂庵	明治20年代	絹本着色1幅	115.3 × 30.2	畑哲二郎氏蔵
70	前・	羅漢尊者之図	平福穂庵	明治22(1889)頃	絹本着色1幅	120.8 × 57.5	秋田県立近代美術館
71	・後	日蓮上人入滅之図	平福穂庵	明治23(1890)5月	絹本着色1幅	86.4 × 120.0	秋田県立近代美術館
72	前・	藤花游鯉	平福穂庵	制作年不詳	紙本着色1幅	133.4 × 52.5	秋田県立近代美術館
73	前・	鯉魚之図	平福穂庵	明治20(1887)	絹本着色1幅	112.2 × 41.6	個人蔵
74	・後	藤花図	平福穂庵	制作年不詳	紙本着色1幅	135.5 × 49.8	秋田県立近代美術館 寄託
75	・後	鯉之図	平福穂庵	明治21(1888)頃	絹本墨画淡彩1幅	112.8 × 41.6	秋田県立近代美術館 寄託
76	前後	軍鶏	平福穂庵	明治19(1886)	絹本着色1幅	134.8 × 55.7	秋田県立近代美術館
77	・後	瑞鶴游雛	平福穂庵	明治20(1887)	絹本着色1幅	112.6 × 42.1	秋田県立近代美術館 寄託
78	前・	雪中蘆雁図	平福穂庵	明治22(1889)	紙本墨画淡彩1幅	134.9 × 68.0	秋田県立近代美術館 寄託
79	前後	梧桐樞鳥	平福穂庵	明治22(1889)頃	絹本着色1幅	130.1 × 56.7	秋田県立近代美術館 寄託
80	・後	龍虎図	平福穂庵	制作年不詳	絹本着色1幅	110.2 × 56.4	個人蔵
81	前・	花通草に猿	平福穂庵	制作年不詳	紙本着色1幅	122.8 × 28.4	個人蔵
82	前後	乳虎	【県有文】 平福穂庵	明治23(1890)	絹本着色1幅	82.4 × 159.5	秋田県立近代美術館
83	前後	愛用画材・印章	—	—	—1式	—	仙北市立角館町平福記念美術館
84	前・	嘯帟	平福百穂	大正14(1925)頃	絹本着色1幅	166.5 × 57.0	秋田県立近代美術館
85	・後	翡翠	平福百穂	制作年不詳	絹本着色1幅	135.5 × 41.3	秋田県立近代美術館
86	・後	江天暮雪	平福百穂	昭和2(1927)	紙本着色1幅	137.5 × 45.0	秋田県立近代美術館
87	前・	松溪牧童	平福百穂	制作年不詳	紙本墨画淡彩1幅	127.3 × 31.8	秋田県立近代美術館
88	前後	巖頭千鳥	平福百穂	昭和2(1927)頃	紙本着色襖4面襖	各177.0 × 89.8	秋田県立近代美術館
89	前・	杜鵑夜	平福百穂	昭和4(1929)	紙本墨画1幅	126.0 × 59.0	秋田県立近代美術館
90	・後	松林山水	平福百穂	昭和8(1933)	紙本墨画淡彩1幅	131.1 × 31.6	秋田県立近代美術館

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『新美術新聞』	「没後130年 平福穂庵展 紹介」	11/11
『朝日新聞』	「東北マリオン」	11/13
『読売新聞』	展覧会紹介記事	11/13
『秋田魁新報』	「すいよう学芸館 美を知る」 ³³	平福穂庵・百穂 11/13
『秋田魁新報』	「すいよう学芸館 美を知る」 ³⁸	平福百穂《牛》 12/18
『河北新報』	「東北の美術館・博物館」	11/26
『ウェブ版美術手帖』	「特別展「没後130年 平福穂庵展」の情報掲載」	https://bijutsutecho.com/exhibitions/5061 11/27～
読売新聞『おらほ』	「特別展「没後130年 平福穂庵展」紹介」	11月末
『秋田魁新報』	県南版記事「穂庵の写生、迫力十分 県立近代美術館 没後130年展、90点並ぶ」	11/30
『マリ・マリ』	「アート探訪 展覧会紹介」	12/6
『ザ・マイカー』	「読者プレゼント 没後130年 平福穂庵展情報」	文友舎 12/20
『ra・kra』	「没後130年平福穂庵展紹介」	12/24
『月刊アンドナウ』1月号	「展覧会紹介」	12/25

『北鹿新聞』
『どあっぷ!』

「情報ステーション 没後130年 平福穂庵展」 12/28
「展覧会紹介」 1/1

【テレビ・ラジオ】

ラジオ「もりスタ」
「ニューストピック」

NHK仙台放送 11/12、11:45～放送

秋田朝日放送 11/25、夕方放送

「日曜美術館 アートシーン」

NHKエデュケーショナル 12/22、9:45～放送

ラジオ出演

FMゆうとぴあ 12/27、8:40～8:55頃放送



展覧会担当学芸員によるギャラリートーク 11/30、1/5



展示室入口では、穂庵が描いた迫力の《幟旗》（昇り龍の描かれた縦5メートルを超える旗）が出迎えてくれました。



第2展示室は《乞食図》がお出迎え！
奥には襖14面の大作《蘭亭曲水図》がみえます。



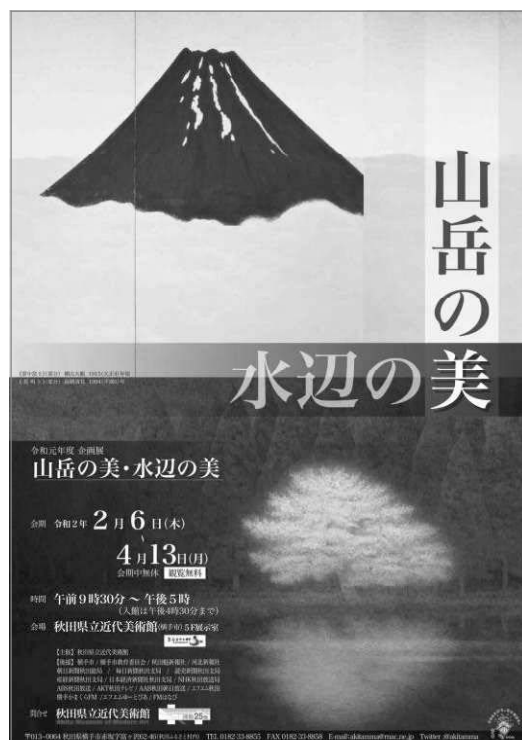
第4展示室には穂庵の晩年の作品が並びました。同室には穂庵の四男・百穂の作品も展示され、父子の競演となりました。

V. 企画展

山岳の美・水辺の美

会 期 2020(令和2)年2月6日(木)～4月13日(日)【68日間】
 主 催 秋田県立近代美術館
 後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
 朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞秋田支局／
 産経新聞社秋田支局／日本経済新聞社秋田支局／
 NHK秋田放送局／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／
 AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／横手かまくらFM／
 エフエムゆーとぴあ／FMはなび
 担 当 藤井正輝

花鳥山水など自然界が見せる四季折々の姿は、人々を魅了してやまない。多くの作家たちもまたそれに心を引かれ、思いを作品に表してきた。今回、当館収蔵の中でも「山」、「水辺」を描いた作品に注目し、28名の作家による日本画・油彩画・版画・彫刻の計55点を展示した。中国に伝わる伝説の山「蓬莱山」や、「富士山」など標高の高い山にはじまり、次第に里山へ、そしてゆるやかな水辺からやがては海へという流れで、視線を下ろしていく構成とした。



第1展示室 高い山々、仙人が住むといわれている伝説のおめでたい山をご紹介します

※【県有文】：秋田県指定有形文化財

No	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	蓬莱山水	牧野 永昌	1818(文政元)頃	絹本着色軸装	56.0 × 81.0
2	山水	白 雲		絹本墨画淡彩軸装	128.5 × 34.0
3	蓬莱山水	小野崎大凌		絹本着色軸装	120.0 × 42.3
4	蓬莱山	平福 百穂		紙本墨画淡彩軸装	149.6 × 46.4
5	蓬莱山水	増田 象江	1883(明16)	紙本墨画淡彩3幅対	各133.0 × 22.0
6	蘭亭曲水図	柴田 是眞		絹本着色軸装	155.0 × 86.0
7	山水	養 虫 山人		紙本墨画軸装	174.0 × 94.0
8	剣峯霜秋	平福 百穂	1924(大13)	紙本墨画淡彩軸装	46.3 × 53.3
9	富士	寺崎 廣業		絹本着色軸装	53.0 × 76.0
10	高山清秋	【県有文】 寺崎 廣業	1914(大 3)	絹本裏箔着色6曲1双	各168.2 × 364.2
11	雲中富士	横山 大観	1915(大 4)頃	紙本金地着色2曲1双	各169.0 × 178
12	春を待つ鳥海山	小泉 淳作	1995(平 7)	紙本墨画淡彩額装	155.0 × 271.0
13	彩雲	平福 百穂	1920(大 9)	絹本着色額装	72.0 × 86.0
14	秋田駒ヶ岳	後藤 純男	1997(平 9)	紙本着色額装	90.5 × 205.5

第2展示室 秋田や近県に見られる「山岳の美・水辺の美」をご紹介します

No	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
15	蜥蜴	河津 五郎	1946(昭21)頃	木彫・着色	H 3.7×W24.4×D 3.3
16	団栗帯留	河津 五郎	1946(昭21)頃	木彫・着色	H 2.0×W 7.2×D 3.2
17	栗鼠	河津 五郎	1972(昭47)頃	木彫・着色	H41.0×W10.7×D14.0
18	鷹	河津 五郎		木彫	H42.7×W14.5×D19.5
19	蛙	河津 五郎	1949(昭24)頃	木彫・着色	H 3.7×W 7.3×D 6.4
20	木霊	河津 五郎		木彫・着色	H28.0×W11.5×D18.2
21	鹿	河津 五郎		木彫	H28.0×W21.0×D11.2
22	山脈(からす)	福田豊四郎	1941(昭16)	紙本着色2曲1隻	216.5 × 178.0
23	八幡平	福田豊四郎	1952(昭27)	紙本着色4曲1隻	133.0 × 239.0
24	山の秋	福田豊四郎	1931(昭 6)	紙本着色6曲1双	各166.5 × 374.4

25	山湖初秋	福田豊四郎		紙本着色軸装	40.0 × 51.5
26	樹氷	福田豊四郎	1937(昭12)	紙本着色4曲1隻	210.5 × 371.0
27	残照	酒井 三良	1923(大12)	絹本着色軸装	136.0 × 112.0
28	春山	【県有文】 平福 百穂	1933(昭 8)	紙本墨画淡彩軸装	91.0 × 104.0
29	山春	福田豊四郎	1930(昭 5)	絹本着色額装(2面)	各228.8 × 106.8
30	山湖早春	荘 司 福	1990(平 2)	紙本着色額装	50.0 × 65.3
31	春の最上川	小 松 均	1974(昭49)	紙本墨画淡彩額装	各94.0 × 368.0
32	山河	桜庭藤二郎	1983(昭58)	紙本着色額装	164.3 × 208.8

第3展示室 「水辺の美」に注目（自然に溶け込む動植物や人）

No	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
33	遅春	桜庭藤二郎	1976(昭51)	紙本着色額装	226.5 × 182.0
34	紅蓮の座・池心座主	福田豊四郎	1970(昭45)	紙本着色額装	各45.0 × 45.0
35	花明り	高橋 清見	1994(平 6)	紙本着色額装	195.0 × 195.0
36	水無月の頃	高橋 清見	1991(平 3)	紙本着色額装	227.3 × 181.8
37	堅田の一休	平福 百穂	1929(昭 4)	絹本墨画淡彩軸装	115.0 × 95.0
38	水辺の夏	福田豊四郎	1931(昭 6)	絹本着色額装	245.0 × 175.5
39	三保富士	下村 観山	1919(大 8)	絹本金地着色6曲1双	各167.0 × 370.0
40	十和田	福田豊四郎		紙本金地着色衝立	105.0 × 114.5
41	蘆に小禽	三森 山静		絹本着色軸装	125.0 × 48.0
42	湖の譚	横山 津恵	1965(昭40)	紙本着色額装	227.0 × 181.7
43	海の譜	横山 津恵	1971(昭46)	紙本着色額装	180.0 × 225.5
44	浜	佐藤 脩平	1981(昭56)	紙本着色額装	161.8 × 210.3
45	北の海	佐藤 脩平	1976(昭51)	紙本着色額装	151.0 × 180.8

第4展示室 油彩画・版画・彫刻による「山岳の美・水辺の美」

No	作品名	作家名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
46	象潟の初夏	伊藤 弥太	1969(昭44)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3
47	閉山した陸中の鉱山	奈良清四郎	1978(昭53)	油彩、キャンバス	131.5 × 181.5
48	越後駒ヶ岳	三村 治男	1986(昭61)	木版、紙	54.0 × 37.0
49	朝の海	三村 治男	1981(昭56)	木版、紙	54.0 × 37.0
50	潮音(A)	山形 八郎	1984(昭59)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1
51	記念撮影一時の化石ー	峯田 敏郎	1993(平 5)	桂・紅松・着彩	H300.0×W300.0×D270.0
52	岬のコンポジションⅡ	山形 八郎	2000(平12)	油彩、キャンバス	162.0 × 194.0
53	漂うものたち(寄託品)	佐々木良三	1984(昭59)	油彩、キャンバス	162.0 × 162.0 ※撮影禁止
54	限定海域のものたち(寄託品)	佐々木良三	1983(昭58)	油彩、キャンバス	162.0 × 162.0 ※撮影禁止
55	汐瀬崎(男鹿の春)	伊藤 弥太	1967(昭42)	油彩、キャンバス	97.0 × 162.1

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『朝日新聞』	「秋田版お知らせ欄」
『北鹿新聞』	「イベント散歩」 2/13
『陸奥新報』	「山岳の美・水辺の美」告知 3/15
『秋田魁新報』	「すいよう学芸館 美を知る」 47 桜庭藤二郎「遅春」 6/19
『秋田魁新報』	「すいよう学芸館 美を知る」 12 高橋清見「花明り」 2/26
『秋田魁新報』	「山岳の美・水辺の美」展覧会情報
『週間さきがけスポーツ』	「お出掛け情報」 2/20
『北秋田市 広報 3月号』	「山岳の美・水辺の美」告知 3月
『広報 かたがみ 3月号』	「山岳の美・水辺の美」告知 3月

『市報よこて』
 『あおぼ 2/7号』
 『マリ・マリ』
 『ra・kra』3-4月号
 『月刊アンドナウ』2月号・3月号
 『どあっぷ!』
 『AREAi』4月号
 『ウォーカープラス』web
 『美連協ニュース No.145』
 『芸術新潮2020 4』
 『月刊美術 No.535』
 『地域創造レター』
 『GALLERY ギャラリー』

イベントカレンダー 2/1、2/15、3/1、3/15
 「山岳の美・水辺の美」告知 2/7
 「アート探訪 展覧会紹介」 3/6
 「山岳の美・水辺の美」告知 2/26
 「展覧会紹介」 1/25、2/25、3/25
 「展覧会紹介」 2/1、3/1、4/1
 「山岳の美・水辺の美」告知 3/1
 「全国版ウォーカープラスwebサイト」3月～
 加盟館展覧会案内
 全国展覧会情報「山岳の美・水辺の美」
 展覧会情報「山岳の美・水辺の美」4月号
 地域通信「山岳の美・水辺の美」
 Schedule Museum「山岳の美・水辺の美」4月号

【テレビ・ラジオ】

あきたびじょんNEXT
 NHK秋田放送局
 横手かまくらFM

テレビ広報番組 2月放送
 「山岳の美・水辺の美」展覧会紹介
 「山岳の美・水辺の美」展覧会紹介



《第1展示室》標高の高い山々や、仙人が住むと言われている伝説の山を紹介。横山大観、寺崎廣業の屏風も並びました。



《第2展示室》県内や近県に見られる「山岳の美・水辺の美」をピックアップ。河津五郎の精緻な彫刻作品も7点並びました。



《第3展示室》「水辺の夏」友と一緒に川で遊んだ少年の夏。豊四郎の思い出は作品となり、今も観るものの胸を打ちます。



《第4展示室》油彩画、版画、彫刻による「山岳の美・水辺の美」2月16日のギャラリートークには17名の方にご参加いただきました。

i. 2019コレクション展 第Ⅰ期 眼と手

会期：2019(令和元)年4月10日(水)～7月7日(日) 【89日間】

担当：小林紀子 ギャラリートーク：4/14、5/26(各日14:00～)

※ 秋田蘭画の展示替え 小田野直武《不忍池図》4/10～5/24、小田野直武《岩に牡丹図》5/25～7/7

※【重文】：国指定重要文化財



第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1前	小田野直武	不忍池図 【秋田蘭画／重文】	1770年代(江戸中期)	絹本着色	98.5 × 132.5
1後	小田野直武	岩に牡丹図 【秋田蘭画】	1770年代(江戸中期)	絹本着色	48.3 × 72.7
3	沈 南 蘋	鶴	1738(元文 3)	絹本着色	各110.0 × 50.0
4	ヨンストン	動物図譜	1660(慶長 5)	書籍・銅版刷り	38.0 × 23.5
5	石川大娘・石川孟高	ファン・ロイエン筆花鳥図模写	1796(寛政 8)	紙本着色	232.8 × 107.0
6	大井 錦亭	灼熱黄土交脚弥勒の窟に慈悲	1995(平成 7)	紙本墨書	180.0 × 1500.0
7	佐々木素雲	(伝)普賢菩薩	制作年不詳	木(桂)	48.0×30.5×15.4
8	寺崎 廣業	唐美人	制作年不詳	絹本着色	98.8 × 40.7
9	松井 如流	杜甫 北征詩	1932(昭和 7)	紙本墨書	各241.0 × 60.0
10	寺崎 廣業	杜甫	1918(大正 7)	絹本着色	210.0 × 100.7

第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
11	近藤 雪竹	右為醫十五則赤星國手属書	制作年不詳	紙本墨書	33.5 × 137.6
12	佐々木素雲	奏紘	制作年不詳	木(桂)	105.0×41.7×32.0
13	高橋 東香	百人一首	2007(平成19)	紙本墨書	97.0 × 327.0
14	鈴木 空如	古画模写	制作年不詳	紙本着色	155.0 × 81.0
15	高橋 萬年	わらじ作り	制作年不詳	紙本着色	160.2 × 207.5
16	高橋 萬年	田植	1938(昭和13)	紙本着色4曲1隻	166.5 × 334.5
17	高橋 萬年	わら切	制作年不詳	紙本着色	160.9 × 167.1
18	松井 如流	よべの雨	制作年不詳	紙本墨書	63.0 × 95.0
19	福田豊四郎	草野	1933(昭和 8)	紙本着色2曲1隻	211.5 × 302.3
20	福田豊四郎	靴屋	1934(昭和 9)	紙本着色	135.5 × 160.4
21	福田豊四郎	村の踊り子	1935(昭和10)	紙本着色	178.0 × 72.1
22	福田豊四郎	資料 原稿	1960(昭和35)	紙	35.0 × 35.8
23	福田豊四郎	資料 家族宛のはがき	1945(昭和40)	紙	14.0 × 9.0
24	高橋 萬年	銀座尾張町	制作年不詳	絹本着色	98.5 × 145.5
25	高橋 萬年	午睡	1954(昭和29)	紙本着色	42.5 × 64.0
26	千葉 禎介	母子(仮題)	1950年代	ゼラチン・シルバープリント	30.3 × 23.2
27	大野源二郎	授乳	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバープリント	30.5 × 24.5
28	佐々木青洋	うしろのしょうめんだあれ	1999(平成11)	紙本墨書	147.0 × 141.0

第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
29	福田豊四郎	早苗曇り	1930(昭和 5)	絹本着色	212.0 × 181.0
30	福田豊四郎	五月山湯	1933(昭和 8)	紙本着色2曲1隻	144.3 × 201.9
31	福田豊四郎	夏郷	1934(昭和 9)	紙本着色2曲1隻	218.8 × 178.6
32	山村 耕花	お七吉三	1910年代(大正初期)	絹本着色	126.0 × 42.0
33	大井 錦亭	石川琢木歌	1995(平成 7)	紙本墨書	各230.0 × 53.0
34	藤田 嗣治	カニ	1938(昭和13)頃	紙本墨画	134.0 × 33.2
35	藤田 嗣治	喧嘩	1937(昭和12)	紙本墨画	42.5 × 49.0
36	藤田 嗣治	自画像	1926(大正15)	エッチング、紙	44.5 × 34.0
37	藤田 嗣治	猫と蜂	1938(昭和13)頃	紙本墨画	137.8 × 32.8
38	藤田 嗣治	猫を抱く少女	制作年不詳	エッチング、紙	32.0 × 54.0
39	藤田 嗣治	オペラ座の夢	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	23.0 × 28.0
40	平福 百穂	潮騒	1931(昭和 6)	絹本着色	138.5 × 41.5
41	川端 龍子	松鯉図	制作年不詳	絹本着色	60.0 × 73.0

関連記事 【新聞・雑誌等】 秋田魁新報「すいよう学芸館 美を知る」[2](#) 福田豊四郎《早苗曇り》2019. 4/10
秋田魁新報「すいよう学芸館 美を知る」[8](#) 高橋萬年《銀座尾張町》2019. 5/22

ii. 2019コレクション展 第Ⅱ期 the Characters キャラクターズ

会期：2019(令和元)年7月10日(水)～10月6日(日) 【89日間】

担当：鈴木 京 ギャラリートーク：7/21、9/8 (各日14:00～)

※ 秋田蘭画の展示替え 小田野直武《唐太宗・花鳥山水図》7/10～8/23、小田野直武《富嶽図》8/24～10/6

※【重文】：国指定重要文化財 ※【県有文】：秋田県指定有形文化財



<特設展示・秋田蘭画>

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	小田野直武	唐太宗花鳥山水図【秋田蘭画/重文】	18世紀	絹本着色3幅対	各122.0 × 44.5
2	小田野直武	富嶽図【秋田蘭画/県有文】	18世紀	絹本着色	43.5 × 77.0

<聖なるキャラクター>

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
3	牧野 雪僊	福祿寿・鶴亀	幕末～明治期	絹本着色3幅対	各104.5 × 35.0
4	寺崎 廣業	羅浮仙図	1913(大正 2)	絹本着色	226.0 × 56.5
5	寺崎 廣業	聖徳太子立像	1914(大正 3)	紙本着色	128.0 × 50.0
6	吉川 霊華	弁財天	1929(昭和 4)	紙本墨画淡彩	129.4 × 30.5

<インパクト系キャラ>

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
7	作者不詳	達磨	制作年不詳	紙本着色	96.0 × 55.0
8	高橋 萬年	鍾馗	大正～昭和期	絹本着色	119.0 × 57.0
9	蓑虫山人	鄭思遠	幕末～明治期	紙本墨画	176.0 × 96.0

<動き・感情・雰囲気>

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
10	平福 百穂	武尊誅梟帥図【寄託品】	1894(明治27)	紙本墨画淡彩	113.4 × 216.3
11	寺崎 廣業	小野小町	1899(明治32)頃	絹本着色	127.2 × 50.5
12	勝平 得之	ナマハゲ(男鹿)	1940(昭和15)	木版、紙 左39.7×15.0、中39.7×29.7	
13	増田 九木	良寛翁像【寄託品】	江戸時代	紙本墨画淡彩	122.5 × 28.2
14	高橋 萬年	華山筆一掃百態図模写	1915(大正 4)	紙本墨画	—
15	竹村 篁邨	恵比須・大黒	制作年不詳	紙本着色	135.0 × 51.0
16	倉田 松濤	羅漢	制作年不詳	紙本墨画淡彩6曲1隻	76.0 × 300.0
17	玉村方久斗	プラットホーム(仮題)	1931(昭和 6)頃	紙本着色	66.0 × 66.0
18	玉村方久斗	玄関にて(仮題)	1931(昭和 6)頃	紙本着色	66.0 × 66.0
19	玉村方久斗	立ち話(仮題)	1931(昭和 6)頃	紙本着色	65.8 × 66.0
20	玉村方久斗	書斎(仮題)	1931(昭和 6)頃	紙本着色	65.9 × 65.8
21	玉村方久斗	庭先光景(仮題)	1931(昭和 6)頃	紙本着色	66.0 × 66.0
22	平福 百穂	黄初平(画稿)	大正～昭和期	紙本墨画淡彩	32.8 × 40.0

<動物とキャラクター>

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
23	伝 小川 隆雅	鷹図巻(仮)【寄託品】	制作年不詳	紙本着色まくり	—
24	福田豊四郎	蒙疆	1939(昭和14)	紙本着色2曲1隻	216.2 × 179.1
25	増田 九木	龍虎	1825(文政 8)	絹本墨画対幅	各100.5 × 36.5
26	倉田 松濤	象	制作年不詳	紙本墨画	136.0 × 53.0
27	吉川 霊華	駿馬	昭和期	絹本着色	140.0 × 51.0
28	小川 芋銭	草汁翁作海坊主	昭和期	紙本墨画	径 60.6
29	安 藤 泉	楳円生活	1975(昭和50)	銅・銀	158.0×70.0×70.0

<彫刻とキャラクター>

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
30	舟越 保武	原の城(副題 切支丹武士の最期)	1971(昭和46)	ブロンズ	197.0×64.0×53.0
31	相川善一郎	墓守	大正～昭和期	ブロンズ	39.0×28.0×22.0
32	峯田 敏郎	記念撮影～遠い日の風音・小田野直武～	2016(平成28)	桂	180.0×97.0×76.0
33	舟越 保武	たつこ	1968(昭和43)	石膏	H 239.0
34	高田 博厚	西田幾多郎	1968(昭和43)	ブロンズ	27.0×20.0×21.0
35	高田 博厚	宮沢賢治	1971(昭和46)	ブロンズ	42.5×26.0×27.5

関連記事 【新聞・雑誌等】 秋田魁新報「すいよう学芸館 美を知る」¹⁴ 小田野直武の秋田蘭画 2019.7/3
 秋田魁新報「すいよう学芸館 美を知る」¹⁹ 彫刻家・舟越保武《たつこ》2019.8/7
 秋田魁新報「すいよう学芸館 美を知る」²³ 寺崎廣業《小野小町》2019.9/4

iii. 2019コレクション展 第Ⅲ期 能代・山本の画家たち

会期：2019(令和元)年10月9日(水)～2020(令和2)年1月13日(月・祝) 【94日間】

担当：高橋輝樹 ギャラリートーク：10/27、12/8(各日14:00～)

※ 秋田蘭画の展示替え 小田野直武《写生帖》10/9～11/25、小田野直武《雷魚図》《鱒図》11/26～1/13

※【県有文】：秋田県指定有形文化財



第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	金子 義償	インドにて	1990(平成 2)	油彩・キャンバス	193.9 × 97.0
2	金子 義償	郊外	1991(平成 3)	油彩・キャンバス	193.9 × 97.0
3	金子 義償	つかのまの休日	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	130.3 × 162.1
4	金子 義償	落葉	1991(平成 3)	油彩・キャンバス	162.1 × 97.0
5	信太 金昌	秋	1954(昭和29)	紙本着色	184.7 × 153.0
6	信太 金昌	源流	1959(昭和34)	紙本着色	162.1 × 130.3
7	信太 金昌	秋湖	1966(昭和41)	紙本着色	182.0 × 152.0
8	信太 金昌	葦と森	1957(昭和32)	紙本着色	153.0 × 182.0
9	信太 金昌	高原	1953(昭和28)	紙本着色	195.5 × 105.5
10	信太 金昌	冬裡宿秋	1982(昭和57)	紙本着色	162.1 × 227.3
11	信太 金昌	孤愁の浜	1992(平成 4)	紙本着色	181.2 × 227.3

第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
12	岡田 琴湖	桜下美人	制作年不詳	絹本着色	141.0 × 51.0
13	岡田 琴湖	菰媚積雪	制作年不詳	紙本墨画淡彩	131.0 × 31.0
14	岡田 琴湖	西湖遊	1944(昭和19)	紙本墨画	43.0 × 77.0
15	岡田 琴湖	龍虎	制作年不詳	絹本金地墨6曲1双	各170.0 × 381.0
16	岡田 琴湖	寒山拾得	制作年不詳	紙本墨画淡彩2曲1双	135.0 × 60.0
17	岡田 琴湖	瀑布	1913(大正 2)	紙本墨画	131.0 × 51.0
18	宮腰喜久治	まつりの日	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	130.3 × 162.1
19	宮腰喜久治	亀ヶ岡	1992(平成 4)	油彩・キャンバス	162.1 × 130.3
20	秩父 和平	鏡の前の少女	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	61.5 × 50.8
21	秩父 和平	ミシンの女	1950(昭和25)頃	油彩・キャンバス	60.5 × 45.4
22	大原 省三	画室にて	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	145.0 × 89.8
23	大原 省三	立像	1976(昭和51)	油彩・キャンバス	130.3 × 64.0
32	小田野直武	写生帖	【県有文】 1770年代(安永年間)	紙本着色墨画 1冊	42.5 × 28.3
32	小田野直武	雷魚図	【秋田蘭画】 1770年代(安永年間)	紙本着色	25.0 × 28.5
33	小田野直武	鱒図	【秋田蘭画】 1770年代(安永年間)	紙本着色	17.0 × 61.0

第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
24	桜庭藤二郎	北海	1967(昭和42)	紙本着色	175.4 × 221.4
25	桜庭藤二郎	阿修羅遅春	1978(昭和53)	紙本着色	178.0 × 224.5
26	桜庭藤二郎	山湖	1965(昭和40)	紙本着色	169.0 × 216.0
27	桜庭藤二郎	奥入瀬遅春	1980(昭和55)	紙本着色	173.0 × 216.0
28	桜庭藤二郎	山湖早春	1984(昭和59)	紙本着色	165.2 × 209.5
29	桜庭藤二郎	春浅し	1979(昭和54)	紙本着色	173.5 × 219.0
30	桜庭藤二郎	雪中十和田	1971(昭和46)	紙本着色	167.3 × 211.2
31	桜庭藤二郎	北海	1964(昭和39)	紙本着色	176.0 × 212.2
32	桜庭藤二郎	資料1 スケッチブック			
33	桜庭藤二郎	資料2 エスキース			
34	桜庭藤二郎	資料3 画材道具(本人使用)			

iv. 2019コレクション展 第Ⅳ期 寺崎廣業展

会期：2020(令和2)年1月24日(金)～4月8日(水) 【76日間】

担当：鈴木秀一 ギャラリートーク：1/26、2/23(各日14:00～)

※ 秋田蘭画の展示替え 佐竹曙山《松に唐鳥図》1/24～3/9、佐竹義躬《岩に牡丹図》3/10～4/8

※【重文】：国指定重要文化財



第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	佐竹 曙山	松に唐鳥図【秋田蘭画／重文／寄託品】	制作年不詳	絹本着色	173.0 × 58.0
2	佐竹 義躬	岩に牡丹図【秋田蘭画】	制作年不詳	紙本着色	108.2 × 29.1
3	小室 怡々斎	注連飾と盆灯籠	制作年不詳	紙本墨画淡彩2曲1双	各166.5 × 75.5
4	小室 怡々斎	嵐峡桜花	制作年不詳	紙本墨画淡彩	135.0 × 54.0
5	平福 穂庵	乳虎	1890(明治23)	絹本着色	66.9 × 128.2
6	寺崎 廣業	瀟湘八景 山市晴嵐	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
7	寺崎 廣業	瀟湘八景 遠浦帰帆	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
8	寺崎 廣業	瀟湘八景 洞庭秋月	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
9	寺崎 廣業	瀟湘八景 煙寺晚鐘	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
10	寺崎 廣業	瀟湘八景 平沙落雁	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
11	寺崎 廣業	瀟湘八景 瀟湘夜雨	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
12	寺崎 廣業	瀟湘八景 江天暮雪	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
13	寺崎 廣業	瀟湘八景 漁邨落照	1912(大正元)	紙本着色	52.1 × 86.8
14	寺崎 廣業	淵明撫松	1910(明治43)	絹本着色	198.0 × 58.0
15	寺崎 廣業	遼東之月	制作年不詳	絹本着色	101.0 × 31.5
16	寺崎 廣業	杜甫	1918(大正 7)	絹本着色	210.8 × 100.7
17	寺崎 廣業	王摩詰	1907(明治40)	絹本着色	165.0 × 84.5

第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
18	寺崎 廣業	美人	制作年不詳	絹本着色3幅対	各126.0 × 50.0
19	寺崎 廣業	墨堤之雪	1893(明治26)	絹本着色	65.6 × 110.4
20	寺崎 廣業	長恨歌	1914(大正 3)	絹本金地着色6曲1双	152.5 × 172.5
21	寺崎 廣業	夜聴歌者	1915(大正 4)	絹本裏箔着色6曲1双	166.6 × 370.8
22	寺崎 廣業	美人観月図	制作年不詳	絹本着色	118.5 × 50.5
23	寺崎 廣業	天の岩戸	制作年不詳	絹本着色	147.0 × 84.0
24	寺崎 廣業	羅浮仙図	1913(大正 2)	絹本着色	226.0 × 56.5
25	寺崎 廣業	信濃の山路	1915(大正 4)	紙本墨画卷子装	43.0 × 1,005.0

第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
26	寺崎 廣業	絶峰催春	制作年不詳	絹本墨画	137.0 × 56.0
27	寺崎 廣業	白馬雪溪	1917(大正6)	絹本着色	184.8 × 86.4
28	寺崎 廣業	白馬山八題 雪溪残月	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
29	寺崎 廣業	白馬山八題 緑陰溪湍	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
30	寺崎 廣業	白馬山八題 斜山緑翠	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
31	寺崎 廣業	白馬山八題 赭山残雪	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
32	寺崎 廣業	白馬山八題 嶮峰群立	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
33	寺崎 廣業	白馬山八題 雪溪花苑	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
34	寺崎 廣業	白馬山八題 山頭团雲	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
35	寺崎 廣業	白馬山八題 雲海曙色	1917(大正6)	紙本着色	57.9 × 89.2
36	寺崎 廣業	山谷冬里図	1917(大正6)	紙本墨画6曲1双	151.5 × 352.0
37	高橋 萬年	四季彩	制作年不詳	紙本着色	150.0 × 150.0
38	高橋 萬年	白梅	制作年不詳	紙本着色	85.5 × 107.0
38	町田 曲江	太子と王妃	1936(昭和11)	絹本着色2面	55.0 × 43.0 55.3 × 42.3

【関連記事】 【新聞・雑誌等】 秋田魁新報「すいよう学芸館 美を知る」⁴³ 寺崎廣業《白馬山八題》2020.1/29

2019コレクション展 展示風景

第Ⅰ期 眼と手



6階 第3展示室



6階 第1展示室

第Ⅱ期 キャラクターズ



6階 第3展示室



6階 第3展示室

第Ⅲ期 能代・山本の画家たち



6階 第1展示室



6階 第3展示室

第Ⅳ期 寺崎廣業展



6階 第2展示室



6階 第3展示室

教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。

さらに美術館を第二の学校として活用する「あきたセカンドスクール推進事業」において、学校の授業としてカウントできる体験活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。



鑑賞の様子『若沖と京の美術』
(2019. 9/14～11. 10)

● キンビ・創作体験プログラム

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「スーパーリアリズムに挑戦2」 ～極細ペンで猫を描く～	5月11日(土) 5月12日(日)	中学生以上一般 各日15名ずつ	野崎文隆 (ブランディングディレクター)	2日 (各日)	計25名	高橋 菅原
II	アクリル絵画教室 「スモールピースを作ろう」	6月 1日(土) ～ 2日(日)	中学生以上 一般15名	大谷有花 (秋田公立美術大学准教授)	全2日	10名	小林 菅原
III	日本画教室 「植物を描く2」	11月9日(土) ～ 10日(日)	中学生以上 一般15名	山田美知男 (画家・日本美術院院友)	全2日	14名	鈴秀 小林

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「Go!Go! 走るぞ! 木のクルマⅢ」	7月28日(日)	小学生以上 一般15名	高橋輝樹(当館学芸主事)	1日	計24名	高橋 藤井
II	「楽しいな! 版画でカレンダー」	12月1日(日)	小学生以上 一般15名	小林紀子(当館学芸主事)	150分	計20名	小林 高橋

※参加者数は保護者を含む

きっずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「びじゅつかんでローラー遊び」	8月 4日(日)	未就学児(4～6歳) 各回30名	菅原真紀子(当館学芸主事)	60分 ×2	計29名	菅原 鈴秀
II	「つちねんどでドロンコアート」	9月 1日(日)	未就学児(4～6歳) 15名	藤井正輝(当館学芸主事)	90分	計30名	藤井 菅原

※参加者数は保護者を含む

展覧会にちなんだワークショップ

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	墨で描こう、若沖に挑戦!	10月27日(日)	制限なし 先着50名	保泉 充(当館学芸班長) 小林紀子(当館学芸主事)	1日	34名	保泉 小林

美術館教室

I. スーパーリアリズムに挑戦2 5/11・12

ブランディングディレクターの野崎文隆氏をお招きし、0.1ミリと0.2ミリの極細ペンで猫をモチーフに細密描写にチャレンジする教室を実施した。今年度は昨年度に引き続き2回目の教室となった。はじめに猫の写真をもとに、ケント紙へ鉛筆で薄く全体的な形をトレースし、その後は極細ペンで猫の表情や毛の流れを忠実に描き、リアルな表現をめざした。かすかなペン先の動く音と、作品とモチーフを何度も見返し、一生懸命に取り組む参加者の様子がみられた。また、野崎氏のわかりやすいアドバイスにより、初心者でも気軽に取組むことができていた。プロの作品に少しでも近づきたいという意欲が持続し、一日が短いと感じられる美術館教室となった。



II. スモールピースを作ろう 6/1・2

秋田公立美術大学准教授の大谷有花氏を講師に迎え、アクリル画教室を開催した。参加者は持参した写真や資料をもとに、包み張りキャンバスに絵を描いた。包み張りキャンバスは、側面の部分にも描画ができ、額縁に入れないでそのまま飾ることができるものである。大谷先生には、アクリル絵の具の使い方や構図の取り方について個々に丁寧なアドバイスをいただいた。全員の作品について先生から講評をいただいたことで、参加者は一段と今後への創作意欲を高めていた。



III. 日本画教室「植物を描こう2」 11/9・10

昨年に引き続き日本画家の山田美知男氏を講師に迎え、岩絵の具や水干絵具を使い、植物画を描く教室を開催した。受講者には描きたい植物の写真やイラストを持参してもらい、それを下絵として小下図の作成、地塗り、骨描き、着色、砂子蒔きと作業を進めていった。制作の工程表と参考資料を事前に参加者に送付し、内容を理解してきてもらうようお願いしていたこともあり、作業はスムーズに進んだ。終了の30分前には制作作業を終わらせ、受講者の作品の撮影と山田先生から講評をいただいた。



みんなの教室

I. 「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマⅢ」 7/28

今年度で3回目となる夏休み中の美術館教室で、参加者は全員小学生とその保護者だった。家族で参加する創作体験として魅力的な内容で、準備したデザインスケッチが立体的な作品に変化するにつれ、さらに工夫を加えてオリジナルの形を目指していた。合板材と丸棒を主材料として組立て、参加したみなさんが笑顔で完成を迎え大満足の教室だった。ゴムによる動力は手軽で組み立てやすく機能的であり、手作りの風合いも感じられるものだった。来年度は新たなテーマを設け、参加者に笑顔で創作体験を楽しんでいただけるよう準備を進めたい。



Ⅱ.「楽しいな！版画でカレンダー」 12/1

スチレンボードを使った版画教室を開催した。参加者は凹凸を作った後、インクをのせて和紙に摺りとる基本を覚え、彫りすすみ版画にも挑戦した。図柄を大きく配置したり、左右反転に注意しながら文字を入れたりして、思い思いの版画を摺った。最も気に入った版を使ってカレンダーを作成した。

※NHK秋田ニュースこまち(18:45～)で当教室の様子が放送された。



きっずあーと

Ⅰ.「びじゅつかんでローラー遊び」 8/4

館内の実習室の床・壁にクラフト紙を設置し、ローラーを使って体全体を動かして自由に描いた。今年度は部屋の中央に段ボールで立体的なゲートを作り、それも含めて色を塗る活動を楽しんだ。また、自然と手や足に絵具をつけてスタンプする姿も見られ、のびのびとしたローラーアートを完成させることができ、子どもたちは笑顔で活動を終えた。



Ⅱ.「つちねんどでドロンコアート」 9/1

未就学児を対象として、「粉→どろどろ→粘土」それぞれの状態を感じてもらいながら、全身で土粘土を楽しんでもらう活動を行った。粘土粉に触れた瞬間の冷たい感触、どろどろのすべる感じなどを、手や足の裏、お尻などで確かめていた。ある程度水分が落ち着いた頃から次第に「だんご」や「雪だるま」などを作り始める様子が見られた。足についた粘土の重みや、シート上に残る足跡なども、子どもたちにとっては新鮮な体験となり、机上ではできないダイナミックな活動となった。



展覧会にちなんだワークショップ

Ⅰ.「墨で描こう、若沖に挑戦！」 10/27

伊藤若沖の作品の模写に挑戦するワークショップを開催した。開場中は好きな時間に来ていただき、用意した8作品の模写に好きなだけ取り組んでいただく方法で実施した。参加者は若沖の作品に見られる技法「筋目書き」に挑戦したり、「鶏」「海老」「牡丹」など、部分的にじっくりと模写したりして楽しんでいた。時間を忘れ、じっくりと取り組む方がほとんどであった。未就学児から大人まで、幅広い層の方に参加していただくことができた。墨による表現に親んでもらい、若沖の作品に対する理解を深めていただく活動となった。



● ミュージアムコンサート

I. 「トレ コン アモーレ コンサート」

日 時 2019年12月8日(日)
1回目… 11時00分～ 11時40分
2回目… 13時30分～ 14時10分
場 所 秋田県立近代美術館5階中央ホール
出 演 小野崎彰子 〈ソプラノ〉
萩田ヒサ子 〈マンドリン〉
木下 裕美 〈ピアノ〉

観覧者数 144人



I 部

- 1 ウィンター・ワンダー・ランド
- 2 サンタが街にやってくる
- 3 Ave Maria
- 4 浜辺の歌
- 5 Merry Christmas Mr. Lawrence
- 6 あわてんぼうのサンタクロース
- 7 クリスマス・メドレー
ジングル・ベル～諸人こぞりて～荒野のはてに

D. Smith & Banard / 蓮健児
J. F. Coots / かんべたかお
F. Schubert
成田為三 / 林古溪
坂本龍一
小林亜星 / 吉岡修
クリスマスソング

II 部

- 1 おめでとうクリスマス
- 2 ホワイト・クリスマス
- 3 Ave Maria
- 4 カナリヤ
- 5 雪の降る町を～ペチカ
- 6 赤鼻のトナカイ
- 7 アメージング・グレース

クリスマス・キャロル
I. Berlin
P. Mascagni
成田為三 / 西條八十
中田喜直 / 山田耕筈
J. Marks
黒人霊歌 / 山ノ木竹志

● 美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるため、当館長が美術講座を8回実施した。
詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」《「実」を求めて―鎌倉時代の美術と文化―》

鎌倉時代の文化・造形に焦点を当て、武士の影響を受けて生まれた
質実剛健な文化、親鸞らが興した新しい仏教等を画像入りで解説。

講師：仲町啓子(秋田県立近代美術館長・実践女子大学文学部教授)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室

全8回、延べ受講者数277名

- ① 5月11日(土) 王朝美術の残影
- ② 6月22日(土) 玉眼の御仏
- ③ 7月20日(土) 神々の美術
- ④ 8月 3日(土) 描かれた武士
- ⑤ 9月21日(土) 仏教の新展開と美術
- ⑥ 10月19日(土) 明恵上人が愛でた美術
- ⑦ 11月 2日(土) 絵巻物の黄金時代
- ⑧ 12月 7日(土) 宗元画の請来

秋田県立近代美術館
2019年度

美術館講座のご案内

鎌倉時代の文化、造形に焦点を当て、武士の影響を受けて生まれた質実剛健な文化や法然や親鸞らが興した新しい仏教など、仲町館長が画像を使ってわかりやすく解説します。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講座名 館長講座 《「実」を求めて―鎌倉時代の美術と文化―》

講 師 仲町啓子（なかまちけいこ）
（秋田県立近代美術館長・実践女子大学文学部教授）

対 象 学生、一般

場 所 秋田県立近代美術館6階研修室

時 間 各回午後1時30分～午後3時

受 講 料 無料

申し込み 不要（各回直接会場にて受付）

期日・内容

- ① 5月11日(土) 王朝美術の残影
- ② 6月22日(土) 玉眼の御仏
- ③ 7月20日(土) 神々の美術
- ④ 8月 3日(土) 描かれた武士
- ⑤ 9月21日(土) 仏教の新展開と美術
- ⑥ 10月19日(土) 明恵上人が愛でた美術
- ⑦ 11月 2日(土) 絵巻物の黄金時代
- ⑧ 12月 7日(土) 宗元画の請来

●お問い合わせは
秋田県立近代美術館（秋田ふるさと中心）
〒013-0064 秋田県横手市赤坂字蔵ヶ沢62-46
Tel.0182-33-8805 Fax.0182-33-8808
E-mail:akitemuseum@nacco.ac.jp
担当：保原、藤井、村田



「館長講座」の様子

● 出前美術館・出前美術展

令和元年度 秋田県立近代美術館 出前美術館 ―Artが北秋田市にやってきた―

主 催：秋田県立近代美術館
共 催：北秋田市教育委員会
会 場：北秋田市文化会館
会 期：2019(令和元)年10月10日(木)～10月14日(月・祝)
担 当：檜尾康子、保泉 充、小林紀子
作品数：55点
参加者：679人

「出前美術館」とは、広く県民の皆様に近代美術館所蔵の美術作品を鑑賞していただくことを目的として、来館が難しい地域に、近代美術館が出向いて開催する展覧会である。

これまで20校の学校を会場に開催し、約12,000人の方々に展覧会をお楽しみいただいた。

今年度は、令和元年10月10日(木)から14日(月・祝)の5日間、北秋田市文化会館を会場に「出前美術館―Artが北秋田市にやってきた―」を開催した。近代美術館所蔵品(寄託1点含む)から、小田野直武、平福百穂、寺崎廣業ら秋田ゆかりの作家による日本画、油彩画、彫刻、工芸、写真、版画などあわせて55点を展示した。また、所蔵品を代表する秋田蘭画《不忍池図》(国指定重要文化財)《芍薬花籠図》2作品のレプリカ(複製品)を展示し、じっくりと鑑賞していただいた。



会場風景

一般展示室・会議室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
1	佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭53)	銅・キハダ・彩切貝	径15.5×高20.0
2	佐々木 英	蒔絵平棗	1982(昭52)	樺・螺鈿・研出蒔絵	径 7.8×高 5.5
3	佐々木 英	蒔絵飾箱「海麗」	1974(昭49)	桐・玉虫貝・研出蒔絵	高13.0×10.0×20.0
4	佐々木 英	彩切貝ぶどう文線文雪吹	1984(昭59)	桜・彩切貝	径 7.3×高 7.8
5	佐々木 英	蒔絵箱「月歌」	1979(昭54)	桐・夜光切貝研出蒔絵	高13.0×10.0×20.0
6	関谷 四郎	金彩壺	1983(昭53)	鍍金、銅・金	径18.8×高25.0
7	関谷 四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭53)	接合・鍍金・赤銅・銀・銅・金	径30.0×高7.0
8	関谷 四郎	銀打出水指	1984(昭59)	鍍金、鍍金・銀・金	径21.5×高12.0
9	小田野直武	不忍池図(レプリカ)	1770年代	絹本着色額装	98.5×132.5
10	小田野直武	芍薬花籠図(レプリカ)	1770年代	絹本著色、岩絵具・顔彩	94.5×21.0
11	平福 穂庵	祐天上人霊夢	1889(明22)	絹本着色軸装	123.0×53.0
12	平福 百穂	富貴草	制作年不詳	絹本着色軸装	142.0×41.6
13	寺崎 廣業	絶峰催春	制作年不詳	絹本墨画軸装	137.0×56.0
14	高橋 萬年	弁財天	制作年不詳	絹本着色軸装	124.8×50.4
15	福田豊四郎	八幡平	1952(昭27)	絹本着色4曲1隻	133.0×239.0
16	福田豊四郎	八幡平スケッチ	1952(昭27)	紙・鉛筆、水彩	25.7×36.0
17	福田豊四郎	八幡平スケッチ	1952(昭27)	紙・鉛筆、水彩	36.0×25.7
18	福田豊四郎	八幡平スケッチ	1952(昭27)	紙・鉛筆、水彩	36.0×25.7
19	桜庭藤二郎	溪	1979(昭54)	紙本着色額装	106.0×106.0
20	奈良裕 功	柘榴・首蝨斯	1934(昭 9)	紙本墨画着色	28.2×40.2
21	奈良裕 功	薔薇	1919(明43)頃	紙本墨画着色	54.0×38.8
22	奈良裕 功	緑鳩	1934(昭 9)	紙本墨画着色	28.2×40.2
23	奈良裕 功	虫狩	1928(昭 3)	紙・鉛筆、顔彩	28.2×36.9

24	大原 省三	座像	1952(昭27)	油彩、キャンバス	130.0×64.8
25	斎藤 寅彦	時の跡・イソヒヨドリ	2012(平24)	油彩・アキーラ、キャンバス	116.7×91.0
26	河村千代三	港	1957(昭32)	油彩、キャンバス	116.7×91.9
27	峯田 敏郎	記念撮影ー内陸縦貫鉄道・初めての旅ー	2005(平17)	木彫(楠・桂)、着色	124.8×106.5×67.0
28	峯田 敏郎	記念撮影ー異人館・阿仁ーエスキースー	2004(平16)	色鉛筆・紙	26.6×38.7
29	峯田 敏郎	N第1防波堤ーエスキースー	1979(昭54)	色鉛筆・紙	26.6×37.3
30	舟越 保武	ANN	1983(昭58)	ブロンズ	32.0×19.0×25.0
31	工 藤 健	座る女	1991(平 3)	ブロンズ	73.0×31.0×43.0
32	松田 芳雄	ふくろう	2008(平20)	ブロンズ	60.0×85.0×50.0

特別展示室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
33	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉いろいろ	1939(昭14)	木版、紙	29.0×40.4
34	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉かまど	1939(昭14)	木版、紙	29.0×40.4
35	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉うまや	1940(昭15)	木版・紙	29.0×40.4
36	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉ドッタ	1940(昭15)	木版、紙	29.0×40.4
37	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉リンゴ	1940(昭15)	木版、紙	29.0×40.4
38	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉はり	1941(昭16)	木版、紙	29.0×40.4
39	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉まゆだま	1941(昭16)	木版、紙	29.0×40.4
40	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉ささまき	1942(昭17)	木版、紙	29.0×40.4
41	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉みづき	1943(昭18)	木版、紙	29.0×40.4
42	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉かきだて	1943(昭18)	木版、紙	29.0×40.4
43	三村 治男	夕暮れ	1990(平 2)	木版、紙	23.0×56.0
44	梅津 祐司	見果てぬ夢VI	1978(昭53)	リトグラフ、紙	58.3×51.8
45	伊藤彌四夫	原生98-A	1998(平10)	木版、紙	90.0×60.0
46	松井 如流	虹	1971(昭46)	紙本墨書	70.0×70.0
47	大井 錦亭	郷	2006(平18)	紙本墨書	68.0×68.0
48	千葉 禎介	雀追い	1943(昭18)頃	ゼラチン・シルバープリント	22.4×28.8
49	千葉 禎介	冬の夜	1949(昭24)	ゼラチン・シルバープリント	30.4×25.3
50	千葉 禎介	村の乙女たち	1949(昭24)	ゼラチン・シルバープリント	25.5×30.4
51	千葉 禎介	少年	1950年代	ゼラチン・シルバープリント	30.2×22.2
52	千葉 禎介	母子(仮題)	1950年代	ゼラチン・シルバープリント	30.3×23.2
53	千葉 禎介	豊作の顔	1958(昭33)	ゼラチン・シルバープリント	20.3×29.9
54	千葉 禎介	夕陽の頃	1958(昭33)	ゼラチン・シルバープリント	25.5×30.5
55	千葉 禎介	村の子供たち	1961(昭36)頃	ゼラチン・シルバープリント	20.4×30.9

◇関連記事

【テレビ】NHK秋田 ニュースこまち 10/10

【新聞】秋北新聞10/11、 北鹿新聞10/11、 秋田魁新報10/12、 北秋田市報



会場風景

能代エナジウムパーク出前美術展
中村征夫写真展「世界一の珊瑚礁」
レディエリオット島、オーストラリア

会 期：2019(令和元)年7月10日(水)～7月25日(木)【15日間】
※7月22日(月)のみ休館
主 催：東北電力(株)能代エナジウムパーク、秋田県立近代美術館
会 場：能代エナジウムパーク カルチャーホール
担 当：保泉 充、菅原真紀子
入場者数：2,793名

写真家、中村征夫氏の作品から、オーストラリア・レディエリオット島で撮影した30点を紹介した。水中の色とりどりの魚たちを撮影した作品はもちろん、レディエリオット島の美しい自然の風景、そこに暮らす鳥たちや浜辺を散策する人々の姿などの写真を展示し、訪れた多くの人の目を楽しませた。



No.	作品名	サイズ(縦×横) cm
1	美ら海へようこそ	60.0×90.0
2	ハマクマノミ	90.0×60.0
3	カクレクマノミ	90.0×60.0
4	クマノミの子供	60.0×90.0
5	クマノミの子供	90.0×60.0
6	ヤシャハゼ	60.0×90.0
7	ミドリイシの仲間	60.0×90.0
8	ヤイトギンポ	90.0×60.0
9	デバスズメダイとミドリイシの仲間	60.0×90.0
10	ヨソギとワカヨウジ	90.0×60.0
11	万座毛の荒れ狂う海	60.0×90.0
12	アントニオ・ガウディ洞窟	90.0×60.0
13	ピカチュウ洞窟	90.0×60.0
14	スポットライト	60.0×90.0
15	キンメモドキ	60.0×90.0
16	イロカエルアンコウ	30.0×45.0
17	イロカエルアンコウ	30.0×45.0
18	コモンサング属の仲間とカンザシヤドカリ	60.0×90.0
19	ブロッキの仲間	90.0×60.0
20	生きているホシズナとタイヨウノスナ	60.0×90.0
21	ヒメジャコガイ	90.0×60.0
22	ナンヨウマンタ	70.0×100.0
23	ナンヨウマンタ	60.0×90.0
24	コブシメの交接	30.0×45.0
25	コブシメの喧嘩	30.0×45.0
26	ザトウクジラ	70.0×100.0
27	ザトウクジラ	60.0×90.0
28	オジサン	30.0×45.0
29	オジサン	30.0×45.0
30	トウゴロウイワシの仲間	60.0×90.0



会場風景

◇関連記事 【テレビ・ラジオ】NHK おはよう秋田 7/12、 【新聞・雑誌等】秋田魁新報 7/18

● ネットワーク推進事業 (共催：秋田県立近代美術館・秋田県立図書館)

『美術館の眼Ⅷースケッチから読む作家の思いー』

会 期：2019(令和元)年12月14日(土)～2020(令和2)年1月28日(火)【34日間】

会期中の休館日：毎週水曜日、2019年12月28日(土)～2020年1月3日(金)

主 催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館

会 場：秋田県立図書館 2F特別展示室

ギャラリートーク：2019年12月15日(日) ①11:00～11:30、②14:00～14:30 (担当:菅原)

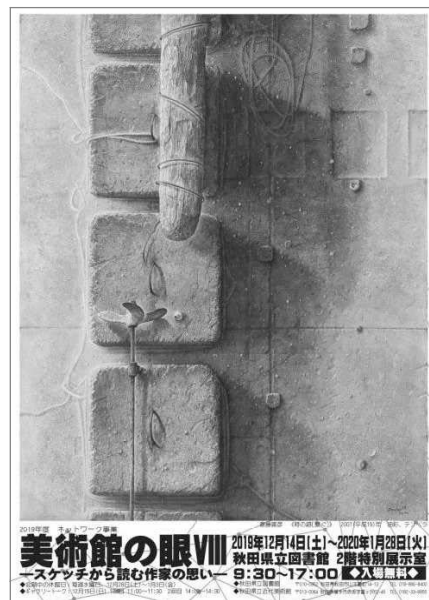
展示作品：斎藤寅彦《時の跡 [繋ぐ]》、橘小夢《花車》

高橋萬年《山水(草生津川新緑)》

針生鎮郎《ひとつ》ほか 計21点 + 関連書籍3点

担 当：菅原真紀子、鈴木秀一

入場者数：3,081名



No	作家名	作品名	制作年月日	材質・技法	寸法(cm)
1	橘 小夢	花車	1965(昭和40)頃	絹本着色二曲一隻	107.0×107.0
2	高橋 萬年	松とススキ	1923(大正12)	絹本着色軸装一幅	126.2×41.2
3	高橋 萬年	山水(草生津川新緑)	制作年不詳	絹本着色軸装一幅	130.6×35.0
4	高橋 萬年	写生帳	制作年不詳	紙、鉛筆・淡彩	36.0×50.0
5	高橋 萬年	写生帳	制作年不詳	紙、鉛筆・淡彩	36.0×50.0
6	斎藤 寅彦	時の跡 [イソヒヨドリ]	2014(平成26)	油彩・アキーラ、キャンバス	116.7×91.0
7	斎藤 寅彦	時の跡 [繋ぐ]	2007(平成19)	油彩、テンペラ	162.0×130.3
8	斎藤 寅彦	イソヒヨドリ エスキースNo.1	2014(平成26)	紙、色鉛筆	39.5×54.7
9	斎藤 寅彦	時の跡 [繋ぐ] エスキース	2007(平成19)	紙、鉛筆、水彩・ジェッソ	54.7×39.3
10	針生 鎮郎	ひとつ	制作年不詳	紙、インク(シルクスクリーン)	84.1×61.1
11	針生 鎮郎	われる	1982(昭和57)	紙、インク(シルクスクリーン)	86.5×61.1
12	針生 鎮郎	ふたつ	1982(昭和57)	紙、インク(シルクスクリーン)	61.6×84.8
13	針生 鎮郎	梟	1979(昭和54)	紙、インク(シルクスクリーン)	64.7×50.5
14	針生 鎮郎	梟	1979(昭和54)	紙、インク(シルクスクリーン)	64.7×50.5
15	針生 鎮郎	シャボン玉のような月	1986(昭和61)	紙・鉛筆、水彩	33.2×24.3
16	針生 鎮郎	ぼうず [かち] (資料)	1962(昭和37)	油彩	
17	針生 鎮郎	エスキース「ひとつ」	1982(昭和57)	紙・鉛筆、水彩	48.3×56.1
18	針生 鎮郎	エスキース「フクロウ」	制作年不詳	紙、鉛筆	50.4×68.6
19	橘 小夢	海辺の春 (小下図)	制作年不詳	紙、鉛筆・顔彩	31.2×34.5
20	橘 小夢	傀儡師 (小下図)	制作年不詳	紙、鉛筆・顔彩	31.0×34.5
21	橘 小夢	水妖 (小下図)	制作年不詳	紙、鉛筆・墨・朱	58.3×40.5
22	橘 小夢	立雛	1960(昭和35)頃	絹本着色軸装	35.0×43.0
23	橘 小夢	海辺の春 (資料)	制作年不明	絹本彩色	
24	橘 小夢	水妖 (資料)	制作年不明	絹本彩色	



内覧会の様子

● ふれんどりーギャラリー

「スーパーリアリズムの世界」

美術館教室「スーパーリアリズムに挑戦」講師・野崎文隆氏の作品を展示。

会 期：2019(平成31)年4月1日(日)～5月13日(日) 【43日間】

担 当：高橋輝樹、菅原真紀子

No	作品名	素材	寸法(cm)等
1	片思い	ペン/紙	30.0 × 21.0
2	ねむいニャー	ペン/紙	30.0 × 21.0
3	昭和10年頃の横手の町並み	鉛筆/紙	21.0 × 29.5
4	フンコロガシ	ペン/紙	29.5 × 21.0
5	ぶん ぶん ぶん	ペン/紙	20.0 × 20.0
6	ワオキツネザル	鉛筆・色鉛筆/紙	27.0 × 19.0
7	クワガタ	鉛筆/紙	23.5 × 16.0
8	西部の開拓時代	ペン/紙	29.5 × 21.0
9	秋田犬の子ども	ペン/紙	24.5 × 31.5
10	うどんづくり	鉛筆/紙	41.0 × 29.5
11	威嚇	ペン/紙	30.0 × 21.0
12	俳人・成田千空	鉛筆/紙	60.0 × 45.0
13	御巡幸御行列之團式	ペン・水彩/紙	27.0 × 49.0
14	ドーベルマン	ペン/紙	35.0 × 25.0
15	親子	ペン/紙	38.5 × 27.0
16	仲良し	ペン/紙	41.0 × 29.5
17	お気に入りの場所	ペン/紙	30.0 × 21.0
18	佐竹本六歌仙「小野小町図」模写	ペン・水彩/紙	47.5 × 60.0
19	豪太	ペン/紙	21.0 × 30.0
20	四十雀（シジュウカラ）	鉛筆/紙	16.0 × 16.0
21	午後のひととき	ペン/紙	30.0 × 21.0
22	Tanaka Syozo	ペン/紙	48.0 × 38.0
23	カマキリ	鉛筆・色鉛筆/紙	34.0 × 27.0
24	戦闘態勢！	ペン/紙	30.0 × 21.0
25	ヒョウ	ペン/紙	41.0 × 29.5
26	クマゲラ	ペン/紙	10.0 × 28.0
27	ニューカレドニアカラス	ペン/紙	30.0 × 20.0
28	シキンニョ君	ペン/紙	62.0 × 76.0



会場風景

「大谷有花 - はなすがた - 」

美術館教室「アクリル絵画教室」の講師・大谷有花氏の作品を展示。

会 期：2019(令和元)年5月18日(土)～6月9日(日) 【23日間】

担 当：小林紀子、菅原真紀子

No	作品名	素材	寸法(cm)等
1	はなすがた SuirenⅡ	キャンバス・油彩	65.5 × 91.0
2	はなすがた CallaⅡ	キャンバス・油彩	65.5 × 91.0
3	はなすがた HakumokurenⅠ	キャンバス・油彩	65.5 × 91.0
4	はなすがた YamabukiⅠ	キャンバス・油彩	65.5 × 91.0
5	はなすがた TsubakiⅠ	キャンバス・油彩	60.5 × 45.5
6	はなすがた HanashobuⅥ	キャンバス・油彩	60.5 × 45.5
7	はなすがた Sakura S-Ⅳ	キャンバス・油彩	14.5 × 18.0



会場風景

「まんが美術館PR展示会」

横手市増田まんが美術館のリニューアルを記念して、まんが美術館の活動を紹介するパネルと、所蔵している複製原画を展示。

会 期：2019(令和元)年7月6日(土)～9月8日(日) 【65日間】

担 当：横手市増田まんが美術館

展示作品：横手市増田まんが美術館所蔵の複製原画
美術館の活動紹介パネル



「山田美知男 作品展」

美術館教室「日本画を描く2」の講師・山田美知男氏の作品を展示。

会 期：2019(令和元)年10月19日(土)～11月17日(日) 【30日間】

担 当：鈴木秀一、小林紀子

No	作品名	寸法(cm)等	モチーフ
1	人に生きる	S50 116.7×116.7	ヒツジ
2	佇む	F10 53.0 × 45.5	ウシ
3	山羊	F8 45.0 × 38.0	ヤギ
4	笑	SM 22.7 × 15.8	ヒツジ
5	二人	SM 22.7 × 15.8	サル
6	狙う	F0 18.0 × 14.0	サル
7	木槿の花	F4 33.3 × 24.2	ムクゲ
8	浮花	P4 33.3 × 22.0	ボタン
9	一本の花	SM 22.7 × 15.8	ガーベラ
10	薔薇	SM 22.7 × 15.8	バラ
11	実	SM 22.7 × 15.8	ノブドウ
12	赤いバラ	P6 41.0 × 27.3	バラ



会場風景

“ふれんどりーギャラリー”を活用した学校による展示事業

子どもたちの活躍の場として、多様な鑑賞体験の場として、美術教育の取組を交流する場として、美術館に子どもたちの作品などを展示する事業である。 ※ 2019年度は、利用希望校なし

“ふれんどりーギャラリー”を活用した学校による展示事業

参加校募集!

- 対象 県内の各小・中・高等学校、特別支援学校
- 会場 秋田県立近代美術館5階ふれんどりーギャラリー
- 期間 1ヶ月間

子どもたちの活躍の場として、多様な鑑賞体験の場として、美術教育の取組を交流する場として、美術館に子どもたちの作品などを展示してみませんか?

☆お申込み方法☆
①電話で展示期間、展示内容等を確認
②FAXまたはメールで利用申請書を提出
展示開始1ヶ月前までお申込みください。

秋田県立近代美術館
TEL 0182-33-8855 FAX 0182-33-8858

● 美術館のセカンドスクールの利用

◇ 概 況

	セカンドスクールの利用(教育課程内)											総利用校数	総利用人数	
	幼・保育園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		その他			
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	団体数			(人数)
4月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
5月	0	(0)	9	(292)	4	(198)	0	(0)	0	(0)	1	(6)	14	496
6月	1	(22)	10	(408)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	11	430
7月	0	(0)	9	(250)	0	(0)	0	(0)	5	(11)	0	(0)	14	261
8月	0	(0)	2	(41)	4	(14)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	6	55
9月	0	(0)	8	(267)	2	(48)	2	(41)	0	(0)	0	(0)	12	356
10月	0	(0)	11	(359)	0	(0)	0	(0)	1	(42)	0	(0)	12	401
11月	0	(0)	9	(328)	0	(0)	2	(46)	1	(3)	0	(0)	12	377
12月	0	(0)	10	(209)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	10	209
1月	0	(0)	2	(90)	0	(0)	1	(7)	0	(0)	0	(0)	3	97
2月	0	(0)	4	(204)	1	(46)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	250
3月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
小 計	1園	(22人)	7校	(248人)	11校	(306人)	5校	(94人)	7校	(56人)				
合計	98校 2,926人										1団体 6人	99校・団体	2,932人	

※参考

平成30年度	128校・団体	4,005人
平成29年度	112校・団体	3,746人
平成28年度	119校・団体	3,134人
平成27年度	147校・団体	5,279人

◇ 令和元年度セカンドスクールの利用校一覧

認定こども園こひび

男鹿北中学校
大曲西中学校
横手北中学校
横手南中学校
横手明峰中学校
増田中学校

東大曲小学校
花館小学校
内小友小学校
大川西根小学校
神岡小学校
西目小学校

清水小学校
豊岡小学校
中仙小学校
太田東小学校
太田北小学校
太田南小学校
南外小学校
高梨小学校
横堀小学校
中川小学校
角館小学校
白岩小学校
西明寺小学校
桧木内小学校
六郷小学校
仙南小学校

横手南小学校
朝倉小学校
旭小学校
横手北小学校
増田小学校
浅舞小学校
雄物川小学校
大森小学校
十文字第一小学校
十文字第二小学校
植田小学校
睦合小学校
山内小学校
大雄小学校

湯沢東小学校
湯沢西小学校
三関小学校
山田小学校
稲庭小学校
三梨小学校
川連小学校
駒形小学校
雄勝小学校
皆瀬小学校
西馬音内小学校
三輪小学校
羽後明成小学校
高瀬小学校
東成瀬小学校
ゆり支援学校
横手支援学校

増田高等学校
横手高等学校
横手城南高等学校
湯沢翔北高等学校
宮城野高校
フレッシュ広場

●部活動
飯島中学校美術部
大曲中学校美術部
平鹿中学校美術部
湯沢北中学校美術部
横手支援学校文化部
湯沢翔北謝校写真部
●横手市子ども教室
雄物川子ども教室
十文字地区子ども教室
浅舞子ども教室

※ 教育課程外:中学校4校89人、高等学校1校33人、特別支援学校2校21人、市町村事業3団体97人、大学2校43人、短大等1校32人、中堅教員研修校3人 [計16校・団体 318人]

- 部 活 動 飯島中学校美術部、大曲中学校美術部、平鹿中学校美術部、湯沢北中学校美術部、湯沢翔北高校写真部、横手支援学校文化部
- 横手市子ども教室 雄物川子ども教室、十文字地区子ども教室、浅舞子ども教室
- 大 学 (減 免) 国際教養大学、東北芸術工科大学
- 短大等 由利本荘医師会立由利本荘看護学校

◇ 利用の位置付け(教科等)

・図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

◇ 内 容

- ・鑑賞体験…「展示会の見どころ(特別展)」「トークで鑑賞(コレクション展)」「美術館探検」「彫刻探検」
- ・制作体験…「大画面に描こう」「こなかからつちねんどをつくろう」「版画を楽しもう」「いろんな画材で楽しもう」
- 「顔彩と墨で描こう」、その他、特別展と関連した制作 等
- ・探究・職業体験…「ふるさと秋田の作家や作品について調べよう」「美術館の仕事を体験しよう」等

◇ キンピ・アートカード 利用数

- ・小学校1校、中学校1校 大学1校 計3団体(16セット)

● 博物館実習

博物館法に基づき、学芸員の資格取得を目指す学生を受け入れ博物館実習を行った。

期間： 2019(令和元)年9月1日(日)～9月6日(金) 6日間

実習生所属大学及び人数： 宮城学院女子大学1名、東京学芸大学1名、秋田公立美術大学1名 計3名

2019(令和元)年度博物館実習計画

	時 間	実 習 内 容	場 所
9月1日(日)	10:00～11:00	オリエンテーション①（美術館教室見学を含む館内見学）	館内全体・広場等
	11:00～12:00	オリエンテーション②（実習のねらい、日程、館の概要説明等）	4F図書室 他
	12:00～13:00	昼休み	—
	13:00～15:00	展示実習（展示ができるまでの流れ、ラベル作成等）	4F図書室 他
	15:00～16:00	ギャラリートーク準備①（作品選定）	6F展示室 他
	16:00～16:30	実習ノート整理・提出	4F図書室
9月2日(月)	10:00～12:00	収蔵品実習①（作品の取り扱いと保存・修復に関する実習） ※掛け軸作品の取り扱い等	2F写真室 他
	12:00～13:00	昼休み	—
	13:00～14:30	収蔵品実習②（作品撮影）	2F写真室
	14:30～16:00	ギャラリートーク準備②（作家・作品調査等）	4F図書室 他
	16:00～16:30	実習ノート整理・提出	4F図書室
9月3日(火)	10:00～12:00	教育普及実習① セカンドスクールの利用 対応補助(横手支援学校小学部)	1F実習室 他
	12:00～13:00	昼休み	—
	13:00～14:00	教育普及実習② 講義・演習(鑑賞活動等)	4F図書室
	14:00～16:00	ギャラリートーク準備③（作家・作品調査等）	4F図書室 他
	16:00～16:30	実習ノート整理・提出	4F図書室
9月4日(水)	10:00～12:00	野外彫刻清掃 補助(ジャージ等準備)	彫刻(広場・小道・丘)
	12:00～13:00	昼休み	—
	13:00～14:30	受付・監視業務補助①	館内
	14:30～16:00	ギャラリートーク準備④（作家・作品調査、トーク練習等）	4F図書室 他
	16:00～16:30	実習ノート整理・提出	4F図書室
9月5日(木)	10:00～12:00	ギャラリートーク実習	6F展示室
	12:00～13:00	昼休み	—
	13:00～14:30	受付・監視業務補助②	館内
	14:30～16:00	収蔵品実習③ 作品調査(図書整理) (例:美術資料の採寸、リスト化、調書作成等)	4F図書室
	16:00～16:30	実習ノート整理・提出	4F図書室
9月6日(金)	10:00～12:00	広報活動補助（発送準備等）	4F図書室
	12:00～13:00	昼休み	—
	13:00～15:00	実習のふりかえり	4F図書室
	15:00～16:00	実習のまとめ（実習ノート整理・提出）	4F図書室

● 美術館ボランティア AMC (アムック: Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1ヶ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修など、その他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員と AMC 役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。



1 会員数 52名 (2020年3月1日現在)

2 活動内容

① 展示室活動・案内活動

- i 館内案内、誘導 (館内各施設、順路ほか)・身障者、老人、子供対応・団体の整理、誘導
- ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付 (リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応 (展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業 (ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
- ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞 (番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等 (図書資料室)
- iii 鑑賞学習会 (ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動 (展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物 (AMC 通信など) の作成・発行

◆ おもな関連行事

- ① 役員会
- ② 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ③ 交流会 (1/11)
- ④ 研修旅行 (11/24 山形美術館、まなびあテラス)
- ⑤ 新会員オリエンテーション
- ⑥ 総会 (2020. 4月以降に開催予定)

収集事業

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

● 美術品収集

美術品等収集状況(令和元年度末まで)

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管換	合 計
秋 田 蘭 画	6	0	1	5	12
東 洋 画	0	0	1	1	2
日 本 画	221	31	220	184	656
洋 画	51	147	197	79	474
版 画	11	60	285	67	423
水 彩 画	0	1	9	0	10
彫 刻	121	12	76	6	215
工 芸	29	0	10	1	40
デ ザ イン	0	0	16	6	22
書	13	7	216	2	238
写 真	3	0	221	0	224
素描・下絵等	20	0	204	11	235
国内その他資料	5	0	133	5	143
外 国 版 画	0	0	0	2	2
外 国 彫 刻	7	0	0	1	8
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合 計	488	258	1,591	370	2,707

2019(令和元)年度収集

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管換	合 計
日 本 画			8		8
洋 画					
写 真			2		2
書					
素描・下絵等					
国内その他資料					
合 計			10		10

寄贈による収集

No	種 別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	平福穂庵	不動明王図	明治20年代	紙本墨画淡彩1幅	115.3×30.2
2	日本画	増田九木	寒江独釣	1843(天保)14	絹本墨画淡彩1幅	129.4×57.0
3	日本画	寺崎廣業	武者図	明治期	紙本淡彩1幅	128.0×49.4
4	日本画	野田九甫	富士山図	制作年不詳	紙本着色1幅	125.4×31.4
5	日本画	小川千甕	早春(富士)	制作年不詳	絹本着色1幅	135.0×47.5
6	日本画	小川千甕	夏?(柳)	制作年不詳	絹本着色1幅	140.8×40.9
7	日本画	小川千甕	秋(紅葉)	制作年不詳	絹本着色1幅	140.2×47.9
8	日本画	小川千甕	冬(雪山)	制作年不詳	絹本着色1幅	139.8×47.4
9	写真	大野源二郎	写真一括(296点)土恋いのうた	1951～1975	ゼラチンシルバープリント	22×15前後
10	写真	大野源二郎	写真一括(492点)学び舎	1989(平成 元)	ゼラチンシルバープリント	20×14前後

● 図書資料

※令和元年度新収図書登録期間（平成31年3/16～令和2年3/15）

分 類	平成30年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	12 1,815
	日本美術	26 2,903
	西洋美術	0 691
	東洋、その他の美術	0 153
	秋田資料	2 594
	関係諸学	0 947
所蔵品図録、研究報告、年報	215	5,774
展覧会図録	225	9,107
美術雑誌他	50	7,423
計	530	29,407

美術品保存

● 美術品保存・修復

本年度は実施せず。

● 重要文化財等指定

国指定重要文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆）1面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆）3幅	

秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆）1幅	
17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1冊	
19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆）2幅対	
21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1幅	
22	平成17. 3. 22	平福穂庵 乳虎 1幅	
23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6曲1双	
24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1幅	
25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1幅	
6	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1帙2帖	

燻 蒸

実施期日：2020(令和2)年1月16日(木)～1月21日(火) 【6日間】

燻蒸場所：地下1階一時保管庫 2階収蔵庫 (2室) 3階収蔵庫 (3室) 総容積 3,589.9m³

実施業者：東化研株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫 (2室)	1,281.8m ³
3階収蔵庫 (3室)	2,091.0m ³
5階展示室 (4室)	4,596.0m ³
6階展示室 (3室)	2,890.8m ³
地下1階一時保管庫	217.1m ³

収蔵庫及び一時保管庫に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、令和元年度は燻蒸を東化研株式会社に委託し上記6日間にわたり、実施した。酸化エチレン (C₂H₄O) と代替フロン (HFC134a) の混合剤(商品名エキヒュームS)を気化器によりガス化投薬し、内部濃度を基準有効濃度200g/m³の基準として48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行った。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫菌害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

美術品の貸し出し

No	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名
1	相原求一朗	三輪車のある風景	川越市美術館	2018/11/13 -2019/7/31	「生誕100年没後20年 相原求一朗の軌跡-大地への挑戦-」
2	勝平得之	千秋公園八景「招魂社」 「二ノ丸の初夏」	副知事室	2019/4/1 -5/27	副知事室貸出
3	勝平得之	秋田風俗十態「草市」 秋田十二景「旭川暮色」	副知事室	2019/5/28 -7/31	副知事室貸出
4	平福百穂	法然上人 ほか	宮城県美術館 茨城県立天心記念館	2019/6/28 -10/21	「平福百穂展」
5	藤田嗣治	裸婦立像 など24点	平野政吉美術財団	2019/05/16 -	長期貸出
6	中村征夫	フタイロカエルウオ エダサンゴの森のデバスズメダイ	副知事室	2019/8月 -9月末	副知事室貸出
7	福田豊四郎	はなびわのかげ ほか8点	仙北市立角館町平福記念美術館	2019/8/28 -10/16	「福田豊四郎日本画展」 2019/9/1-10/14
8	中村征夫	バリアリーフアネモネフィッシュ カモメ	副知事室	2019/10月 -11月末	副知事室貸出
9	福田豊四郎	五月山湯、山菜売る人達 熔鉱炉、山湖遊行巻	大田区立龍子記念館	2019年10/16 -12/11	「青龍社展」
10	鏑木清方	松と梅、秋の夜	名都美術館	2019年10/2 -12/25	「鏑木清方展」
11	岡田謙三	高原	秋田市立千秋美術館	2019年11/7 -3/12	「岡田謙三展(コレクション展)」
12	勝平得之	千秋公園八景「二ノ丸の初夏」 梵天奉納之図	秋田県立博物館	2019年11/19 -2020/4/17	「山と生きる -太平山の信仰と人々の暮らし」
13	中村征夫	エダサンゴとデバスズメダイ スジアラ	副知事室	2019/12月 -1月末	副知事室貸出
14	藤田嗣治	カニ、喧嘩、猫と蜂	平野政吉美術財団	2020/02/12 -03/31	長期貸出
15	中村征夫	ホヤの仲間 ヤイトギンボ	副知事室	2019/2月 -3月末	副知事室貸出

仲町啓子

講 座 美術館講座「館長講座」《「実」を求めて ―鎌倉時代の美術と文化》秋田県立近代美術館 2019年5月～12月まで8回

保泉 充

図 録 『没後130年 平福穂庵展』秋田県立近代美術館 2019年11月
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」高橋萬年「銀座尾張町」、「午睡」2019年5月22日
 実技講座 ワークショップ「墨で描こう、若冲に挑戦！」2019年10月27日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」平福百穂「牛」、「牛 画稿(大下図)」2019年12月19日
 論 考 「寺崎廣業の落款」『秋田美術No.56』(紀要)秋田県立近代美術館 2020年 webで公開予定

鈴木秀一

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」寺崎廣業「小野小町」、「羅浮仙図」2019年9月4日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」寺崎廣業「白馬山八題」、「瀟湘八景」2020年1月29日

藤井正輝

実技講座 きつずあーと「つちねんどでドロンコアート」2019年9月1日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」桜庭藤二郎「遅春」、「山河」2019年6月19日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」高橋清見「花明り」、「水無月の頃」2020年2月26日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」小泉淳作と後藤純男 2020年3月25日
 講 座 県庁出前講座「あきたの美術 自然を描いた画家たち」能代市立図書館 2020年2月9日

高橋輝樹

実技講座 みんなの教室「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマⅢ」2019年7月28日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」信太金昌「冬裡宿秋」、「源流」2019年10月9日

小林紀子

実技講座 ワークショップ「墨で描こう、若冲に挑戦！」2019年10月27日
 実技講座 みんなの教室「楽しいな! 版画でカレンダー」2019年12月1日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」福田豊四郎「早苗曇り」、「樹氷」2019年4月10日

菅原真紀子

実技講座 きつずあーと「びじゅつかんでローラー遊び」2019年8月4日
 講 座 あきた県庁出前講座 No.173「あきたの美術～所蔵作品に見る秋田蘭画から近代まで～」2020年2月8日、秋田ビューホテル、11:00～12:20

鈴木 京

図 録 『没後130年 平福穂庵展』秋田県立近代美術館 2019年11月
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」小田野直武《唐太宗花鳥山水図》《富嶽図》2019年7月3日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」舟越保武《たつこ》《原の城》2019年8月7日
 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」平福穂庵《乞食図》《緑蔭清談》、平福百穂《杜鵑夜》2019年11月13日
 講 座 博物館資料論(4回) 2019年5月22日、29日、6月5日、12日、秋田公立美術大学、10:30～12:00
 講 座 弘田柵跡金曜講座「奈良・平安の美術入門～仏教美術を楽しむ」2020年1月10日、秋田県埋蔵文化財センター第1研修室、13:00～15:00
 講 座 あきた県庁出前講座 No.173「あきたの美術～所蔵作品に見る秋田蘭画から近代まで～」2020年2月8日、秋田ビューホテル、11:00～12:20

高橋さおり

(秋田県立近代美術館長期研修員)
 資料作成 「2019年県内展覧会一覧」『秋田美術』56号(仮) 秋田県立近代美術館

村田詩織

図 録 『没後130年 平福穂庵展』秋田県立近代美術館、2019年11月
 資料作成 「2019年県内展覧会一覧」『秋田美術』56号(仮) 秋田県立近代美術館

◆2018年度 秋田県立近代美術館年報 2019年6月発行 A4判 53頁

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 78 2019年9月30日発行 A4判 4頁

展覧会レポート： 写真展 岩合光昭の 世界ネコ歩き 2
 ビッグコミック50周年展
 2019コレクション展第1期「眼と手」
 2019コレクション展第2期「キャラクターズ」
 能代エナジウムパーク出前美術展 「世界一の珊瑚礁 Lady Elliot Island, Australia」
 ふれんどりーギャラリー「スーパーリアリズムの世界展2」
 ふれんどりーギャラリー「大谷有花 ～はなすがた～」
 ふれんどりーギャラリー「美術館PR展示会」
 トピックス： 若冲と京の美術 ―京都 細見コレクションの精華―
 ： 出前美術館 Artが北秋田市にやってきた
 インフォメーション： 2019年度・下半期の美術館事業

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 79 2020年3月31日発行 A4判 4頁

展覧会レポート： 若冲と京の美術 ―京都 細見コレクションの精華―
 没後130年 平福穂庵展
 2019コレクション展 第3期 能代・山本の画家たち
 2019コレクション展 第4期 寺崎廣業展
 出前美術館 Artが北秋田市にやってきた
 2019年度ネットワーク事業 美術館の眼Ⅷ ―スケッチから読む作家の思い―
 トピックス： 山岳の美・水辺の美
 ： セカンドスクールの利用一覧
 インフォメーション： 2020年度・上半期の美術館事業

※ 秋田県立近代美術館ニュース『ARK(アーク)』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。
 (平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』
 では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆秋田美術 No. 56号 2020年度中に発行予定 A4

※ 秋田美術

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆2020年度行事案内リーフレット(年間スケジュール) 2020年3月発行 A4 2頁

入館状況

平成31年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	4,825	12,861	9,206	6,566	5,644	8,574	10,984	7,728	4,301	4,637	3,803	2,686	81,815

利用者数一覧表

事業別 区分			入館者	特別展入場者						企画展入場者			その他 ※(2)
				写真展 「岩合光昭の 世界を歩く2」	ビッグコミック 50周年展	若沖と 京の美術展	平福穂庵展	計		美術館の眼Ⅷ ※(3)2/16～	山岳の美 水辺の美 ※(4)～4/13	計	計
開催期間			4/1(月)～ 3/31(火)	4/27(土)～ 6/30(日)	7/6(土)～ 9/8(日)	9/14(土)～ 11/10(日)	11/16(土)～ 2/2(日)			4/1(月)～ 4/21(日)	2/6(土)～ 3/31(火)		
日数(日)※(1)			353	65	65	57	65	252		21	55	76	46
利用者数(人)			81,815	18,193	3,562	16,858	2,196	40,809		1,662	5,770	7,432	33,574
一日平均(人)			232	280	55	296	34			79	105		
有料	個人	一般・学生		14,157	2,435	13,742	697	31,031		—	—	0	0
		シルバー		—	—	—	179	179		—	—	0	0
		身障 一般・学生		584	101	652	—	1,337		—	—	0	0
	団体	一般・学生				251	50	301		—	—	0	0
		合計		14,741	2,536	14,645	926	32,848		0	0	0	0

※(1) 日数は、年末休館(令和元年12月29日～31日)及びメンテナンス休館(令和2年1月14日～23日)を除く。

※(2) その他利用者数の内訳は、次のとおり

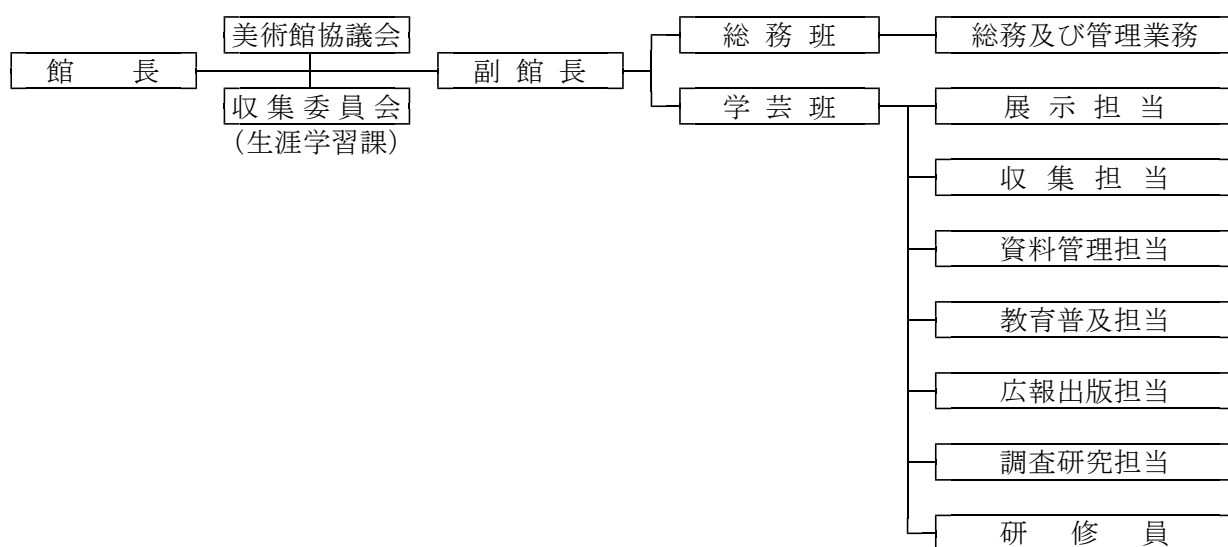
- ・特別展期間中の入館者：25,086人
- ・ネットワーク事業(県立図書館)：3,081人
- ・出前美術館(北秋田市文化会館)：679人
- ・出前美術展(能代エナジウムパーク)：2,793人
- ・常設展(5F展示替期間)：1,871人
- ・出前講座等(館外)：64人

※(3) 「美術館の眼Ⅷ」は、平成31年2月16日～平成31年4月21日まで開催。

※(4) 「山岳の美・水辺の美」は令和2年2月6日～令和2年4月13日まで開催。

組 織

組 織 図



職 員

名 誉 館 長
 館 長
 副 館 長
 副主幹(兼)班長
 副 主 幹
 主 事
 副主幹(兼)班長
 副 主 幹
 学 芸 主 事

 主任(兼)学芸主事
 技 能 主 任
 研 修 員

河 野 元 昭
 仲 町 啓 子
 檜 尾 康 子
 佐々木 賢一
 茂 木 亨
 加 藤 紫 帆
 保 泉 充
 鈴 木 秀 一
 藤 井 正 輝
 高 橋 輝 樹
 小 林 紀 子
 菅 原 真 紀 子
 鈴 木 京
 伊 藤 正 信
 高 橋 さおり

美術資料整備
 学 芸 補 助
 解 説 員

本間 恵里子
 村 田 詩 織
 藤 田 園
 菊 地 佳 奈
 沓 澤 史 恵
 佐 藤 美 佳
 藤 沢 香 奈 子
 原 彩 野
 赤 川 和 歌 子
 佐々木 瑞穂
 岸 穂 乃 香
 菅 原 希
 俵 谷 彩 子

美術館協議会委員

会 長
 副 会 長

木 村 雅 美
 亀 沢 修
 池 田 陽 子
 大 山 満 子
 佐 藤 稔
 澤 谷 ゆりか
 澁 谷 和 之
 松 田 砂 織
 吉 野 真 史
 渡 辺 歩

横手市教育委員会教育指導部学校教育課長
 小坂町史編さん室長
 株式会社 Mag 代表取締役
 公募(主婦)
 横手市立横手南小学校長
 秋田ふるさと村総務部総務課長
 澁谷デザイン事務所代表
 書道教室「えがおの花」代表
 日本放送協会秋田放送局長
 秋田魁新報社文化部長

建築・設備概要

建築概要

建設地／	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
敷地面積／	164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建築面積／	2,947.32㎡
延床面積／	11,166.50㎡
構造／	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階 地上7階 PH1階
設計／	株式会社 山下設計東北支社
監理／	秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事／	大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調／	ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気／	東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／	岡田水道施設工事(株)
受変電／	羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電／	千代田電気工業(株)
昇降機／	三菱電機(株)

設備概要

電気設備

受変電設備／	受電電圧3φ 3W 6.6KV 50Hz 設備容量1,500KW
非常用発電設備／	ディーゼル発電機(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／	非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備／	中央監視装置：機能分散型DDC方式による 集中監視制御
照明設備／	蛍光管主体 展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅 制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／	拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・ TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラ リー4系統(80インチ液晶モニター1台・60インチ 液晶モニター3台)ハイビジョンデータベース システム1系統(32インチ液晶モニター1台)
防犯設備／	防犯センサー・ITV装置
防災設備／	自動火災装置・防排煙設備

空調設備

熱源設備／	吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG 焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備／	ユニット型空調機(還風機組込型)×4台 ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台 ファンコイルユニット天井カセット型×105台 水冷式パッケージ型空調機×6台 空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備／	第1種及び第3種換気方式
排煙設備／	機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／	機能分散型
燻蒸設備／	常圧手動式ユニット型20㎡

給排水衛生設備

給水設備／	上水引込口径75mm 重力給水方式 受水槽24m³ 高置水槽6m³
給湯設備／	局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／	建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式 建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化 槽へ導入
ガス設備／	ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給 主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備／	炭酸ガス消火・屋内消火栓

エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1分
-----------	---------	-------	----

主な設備

5階展示室(4室計) 983.10㎡	収蔵庫(5室計) 852.9㎡
(1室) 260.28㎡	会議室 69.4㎡
(2室) 293.76㎡	実習室・準備室 135.0㎡
(3室) 237.13㎡	図書資料室 160.5㎡
(4室) 191.93㎡	調査研究室 45.5㎡
6階展示室(3室計) 786.90㎡	ハイビジョンギャラリー 241.9㎡
(1室) 255.96㎡	研修室 226.7㎡
(2室) 293.76㎡	キッズ・ルーム 128.9㎡
(3室) 237.13㎡	

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総 則 （設置）

第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）

第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施 設	業 務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館 （近代美術館）

第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）

第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 近代美術館の利用者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）

第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場に当たっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料等の減免）

第8条

知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）

第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）

第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区 分	金 額（一人につき）
普通料金	840円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	750円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

第 1 条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第 5 条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第 8 章の 2 近代美術館

（開館時間）

第37条の 2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第37条の 3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1 月 1 日及び 1 月 2 日）
- 2 年末（12 月 29 日から 12 月 31 日まで）

（資料の館外貸出し等）

第37条の 4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第37条の 5

第 3 条第 3 項及び第 4 項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第 6 条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第 7 条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第 12 条の規定は秋田県ふるさと村条例（平成 5 年秋田県条例第 45 号）第 8 条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第37条の 6

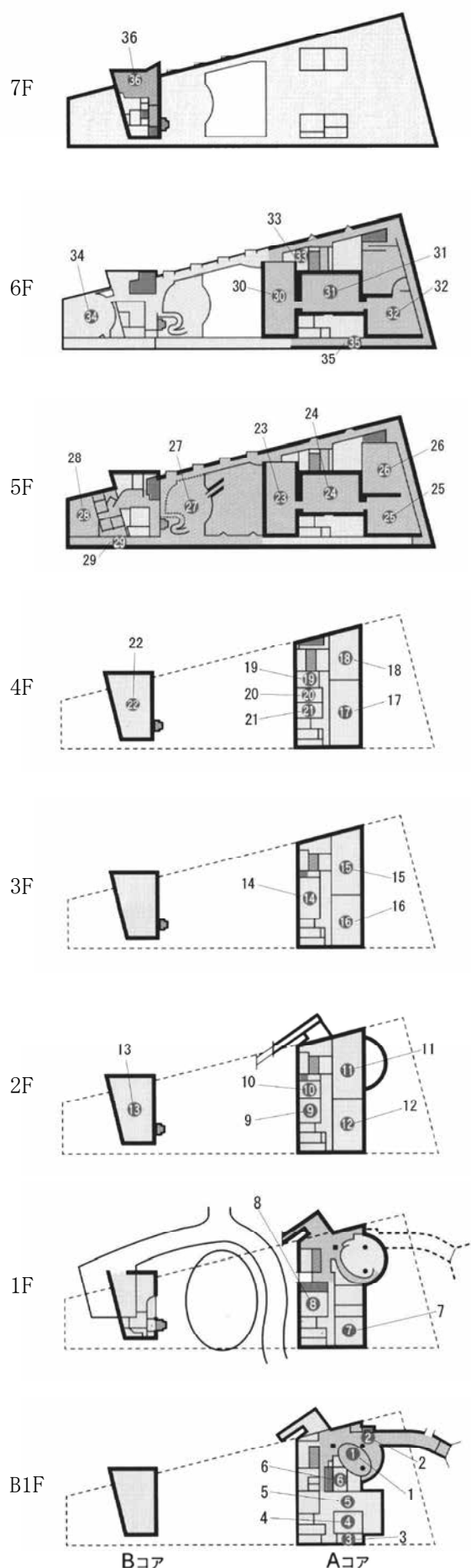
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

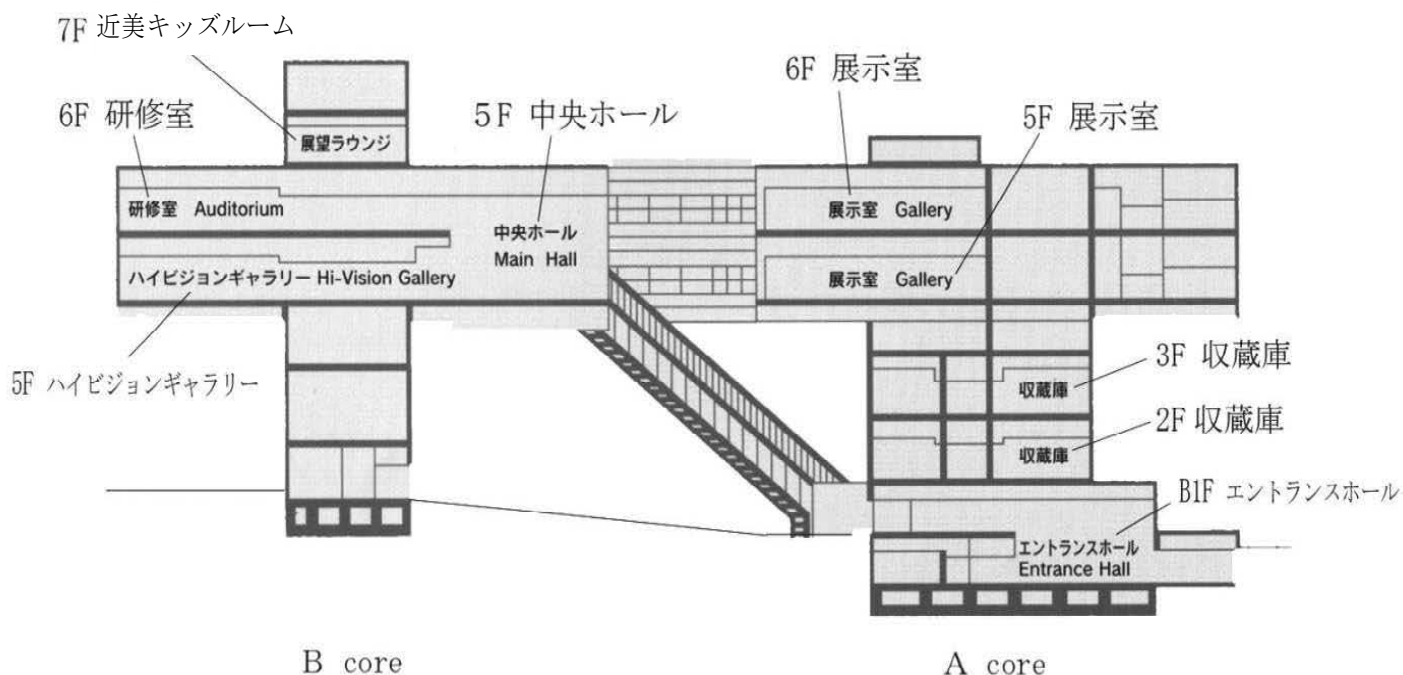
附則

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどリーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	21	調査・研究室	Study Room
	20	館長室	Director's Room
	19	応接室	Lounge
	18	図書・資料室	Library
	17	事務室	Museum Office
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	燻蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





- 1 エントランスホール 彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 エスカレーター 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 中央ホール 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 ハイビジョンギャラリー 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 展示室 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 実習室 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 研修室 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 収蔵庫 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 野外展示スペース 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆休館日 (2019年度)

2019年12月29日～12月31日(年末休館)

2020年 1月14日～ 1月23日(メンテナンス休館)

◆料 金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 岩谷光昭写真展	1,000円	500円	無料	無料	半額
団体(20名～)・前売り	800円	400円			
特別展 ビッグコミック展	1,000円	500円	無料	無料	半額
団体(20名～)・前売り	800円	400円			
特別展 若沖と京の美術展	1,200円	800円	無料	無料	半額
団体(20名～)・前売り	1,000円	600円			
特別展 平福穂庵展	500円	無料	無料	無料	無料
団体(20名～)・シルバー(70歳～)	450円				
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆ **Museum hours**

9:30 a.m. ~ 5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

◆Closed (Fiscal year 2019)

- Dec. 29–31, 2019 Year-end Holidays

• Jan. 14-23, 2020 Maintenance Week

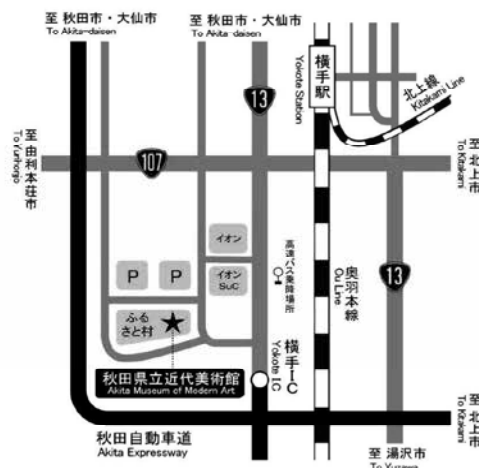
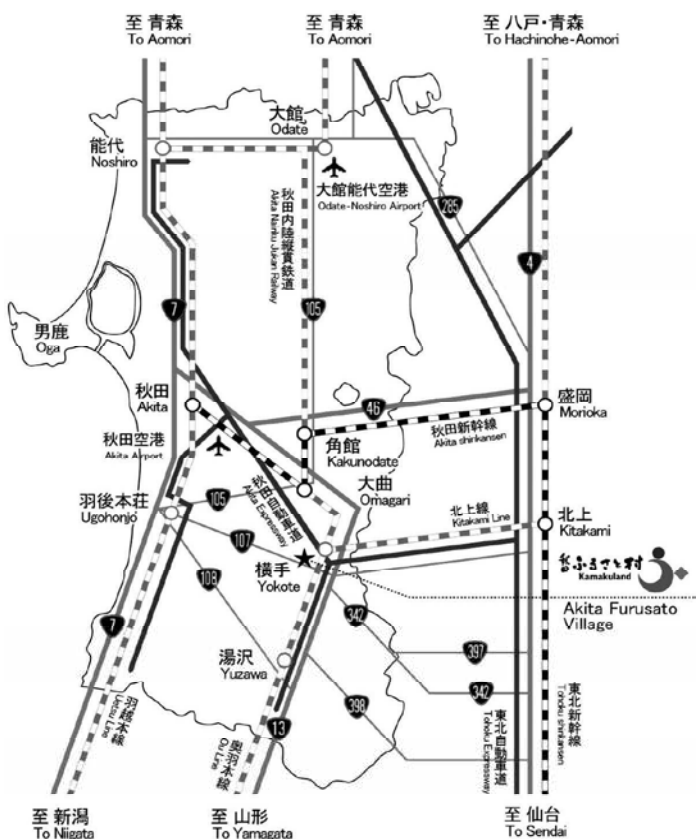
◆ Admission Fee

	adult	senior high school & college student	elementary & juniorhigh school student	pre-school child	handicapped person
Special Exhibition Iwago mitsuaki ※	¥1,000 ¥800	¥500 ¥400	¥0	¥0	¥0
Special Exhibition Bigcomic ※	¥1,000 ¥800	¥500 ¥400	¥0	¥0	¥0
Special Exhibition Jakuchu ※	¥1,200 ¥1,000	¥800 ¥600	¥0	¥0	¥0
Special Exhibition Suian *	¥500 ¥450	¥0	¥0	¥0	¥0
permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

※ Group Discount (20 persons and more) & an advance ticket.

* Group Discount (20 persons and more) & Senior discount (persons of ages 70 and over).

交通案内 Transportation



- ◆ (JR とバスで)
JR 横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- ◆ (お車で)
秋田自動車道 横手インターより3分
- ◆ (高速バスで)
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車、徒歩10分
- ◆ (By JR train and bus)
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ◆ (By car)
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ◆ (By Express bus, Yuzawa-Akita Line)
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2020年6月発行
編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858
URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html
E-mail: akitamma@rnac.ne.jp